



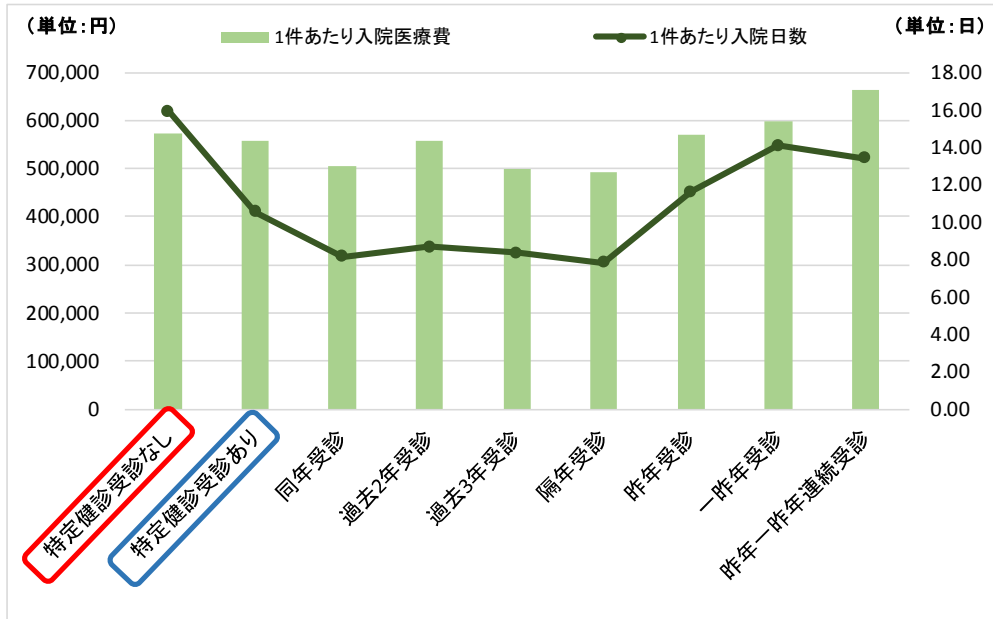
[平成27年度岡山市国民健康保険医療費等分析報告書]

## ⑤\_特定健診結果と平成26年度 レセプトの突合分析

# ⑤\_1\_特定健診受診状況による医療費の違い

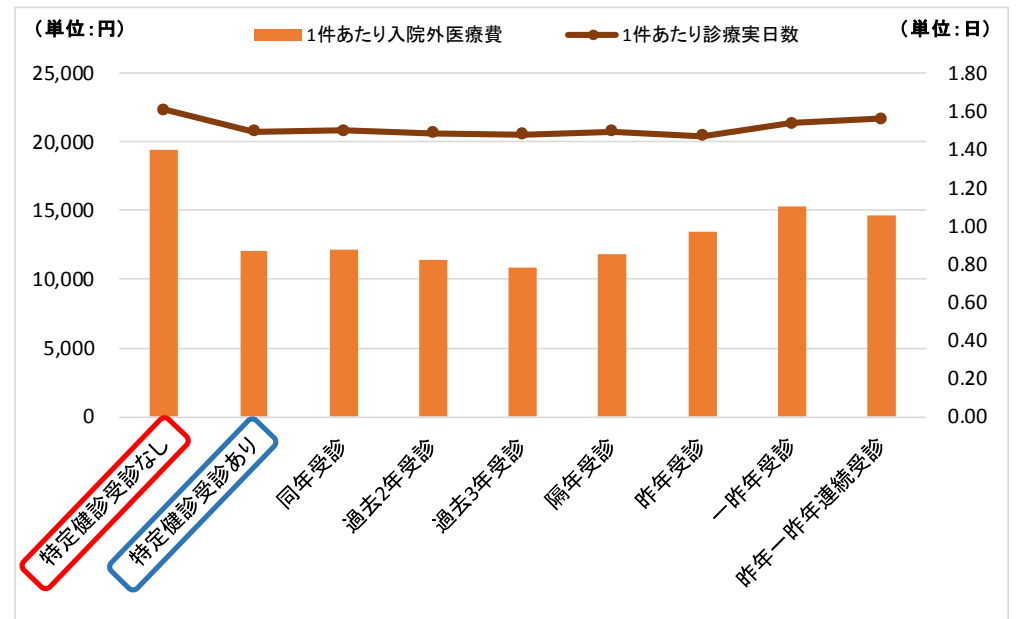
平成26年度のレセプトデータと平成24年度～平成26年度の過去3年間の特定健診データを突合し、3年連続特定健診受診対象となり、かつ生活習慣病関連疾患に罹患している被保険者の、過去3年間の特定健診受診履歴によるレセプト1件あたりの診療実日数と医療費の差を入院、入院外別に示しました。入院においては、医療費には大きな差が生じていないものの、**特定健診を受診していない被保険者の入院日数は、継続して受診している被保険者と比較して長期化する傾向**が認められました。入院外においては、診療実日数に大きな差は認められないものの、**特定健診を受診していない被保険者の医療費は、継続して受診している被保険者と比較して高額となる傾向**が認められました。

⑤.1.1.1\_特定健診受診履歴別医療費比較×入院



特定健診受診履歴	平成24年度	平成25年度	平成26年度	1件あたり入院日数	1件あたり入院医療費
特定健診受診なし				15.92	573,779
特定健診受診あり	○	○	○	10.52	556,411
同年受診			●	8.14	505,276
過去2年受診		●	●	8.67	557,648
過去3年受診	●	●	●	8.36	500,287
隔年受診	●		●	7.82	493,725
昨年受診		●		11.61	568,923
一昨年受診	●			14.07	597,220
昨年一昨年連続受診	●	●		13.42	664,199

⑤.1.1.2\_特定健診受診履歴別医療費比較×入院外



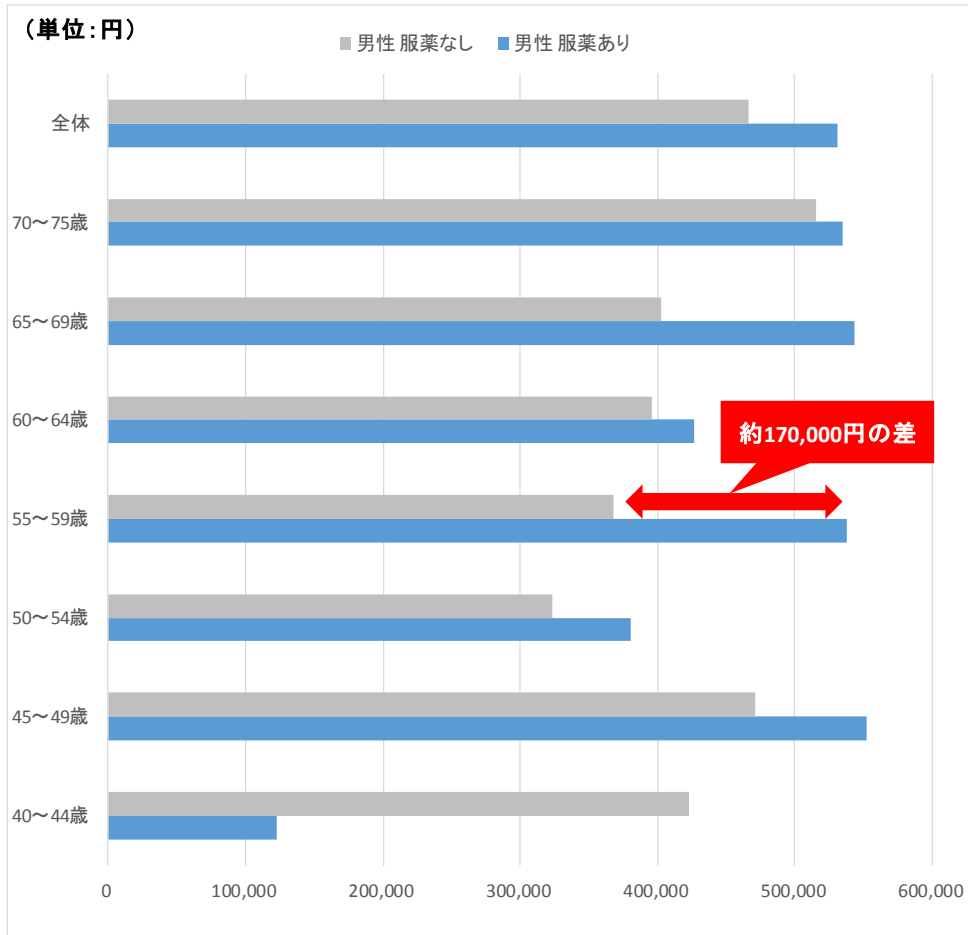
特定健診受診履歴	平成24年度	平成25年度	平成26年度	1件あたり診療実日数	1件あたり入院外医療費
特定健診受診なし				1.61	19,466
特定健診受診あり	○	○	○	1.50	12,025
同年受診			●	1.50	12,119
過去2年受診		●	●	1.49	11,379
過去3年受診	●	●	●	1.48	10,889
隔年受診	●		●	1.50	11,886
昨年受診		●		1.47	13,516
一昨年受診	●			1.54	15,296
昨年一昨年連続受診	●	●		1.56	14,676



## ⑤\_2\_健診結果（問診を含むリスク状況）による医療費の違い

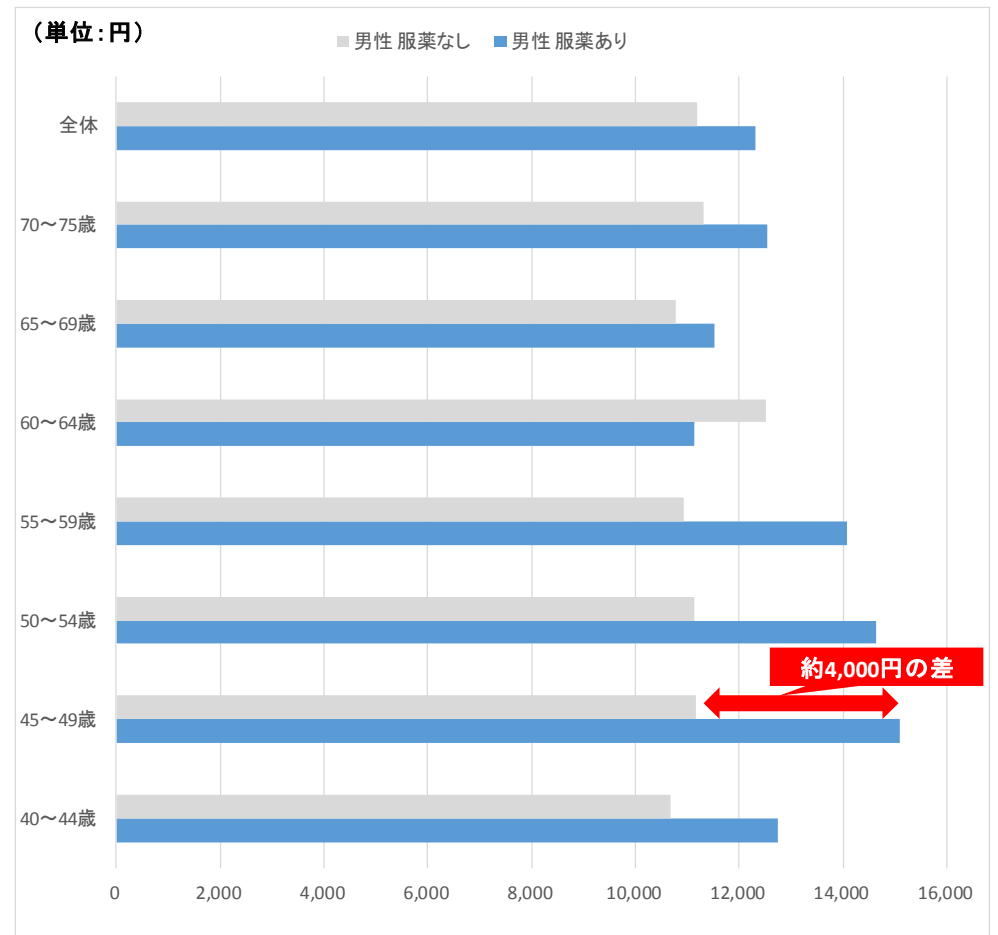
平成26年度のレセプトデータと平成24年度～平成26年度の過去3年間の特定健診データを突合し、男性の服薬の有無によるレセプト1件あたりの医療費の差を年齢階級別、入院、入院外別に示しました。入院においては、**55～59歳の年齢階級で、非服薬者と比較して、服薬者の医療費が約170,000円高額**となっています。入院外においては、**45～49歳の年齢階級で、非服薬者と比較して、服薬者の医療費が約4,000円高額**となっています。

⑤\_2\_1\_1\_服薬有無別医療費比較×男性×年齢階級別×入院



性別	服薬有無	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～75歳	全体
男性	服薬あり	122,430	552,212	380,038	538,052	426,536	543,131	534,538	531,102
	服薬なし	423,269	471,422	323,551	367,621	396,192	403,028	515,020	466,160

⑤\_2\_1\_2\_服薬有無別医療費比較×男性×年齢階級別×入院外



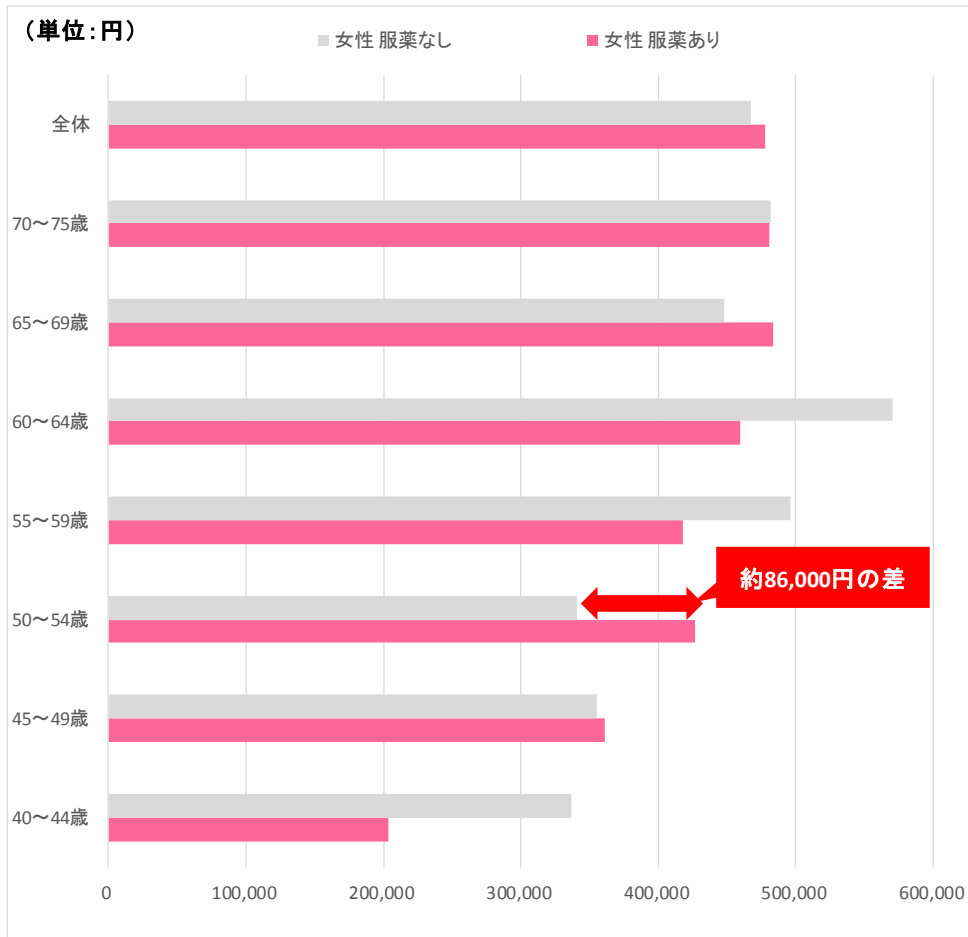
性別	服薬有無	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～75歳	全体
男性	服薬あり	12,757	15,101	14,639	14,083	11,136	11,524	12,545	12,324
	服薬なし	10,669	11,159	11,131	10,943	12,513	10,775	11,304	11,186



## ⑤\_2\_健診結果（問診を含むリスク状況）による医療費の違い

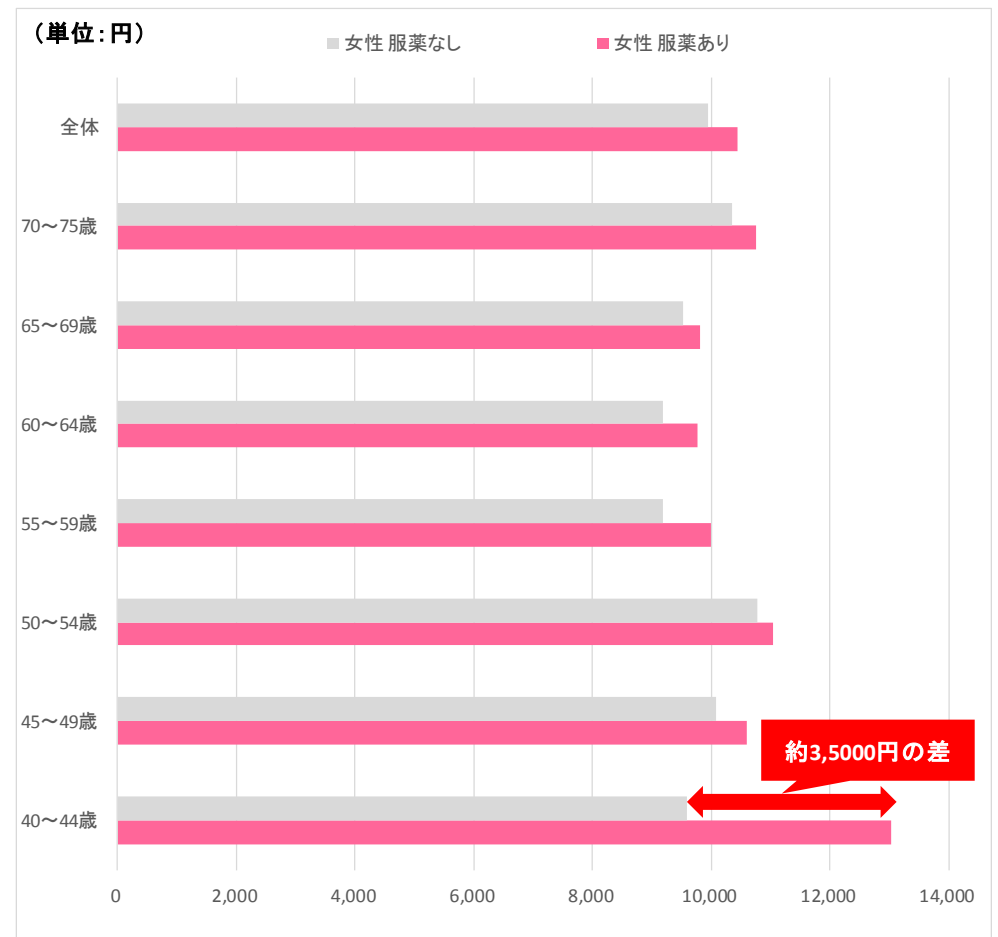
平成26年度のレセプトデータと平成24年度～平成26年度の過去3年間の特定健診データを突合し、女性の服薬の有無によるレセプト1件あたりの医療費の差を年齢階級別、入院、入院外別に示しました。入院においては、**50～54歳の年齢階級で、非服薬者と比較して、服薬者の医療費が約86,000円高額**となっています。入院外においては、**40～44歳の年齢階級で、非服薬者と比較して、服薬者の医療費が約3,500円高額**となっています。

⑤\_2\_1\_3\_服薬有無別医療費比較×女性×年齢階級別×入院



性別	服薬有無	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～75歳	全体
女性	服薬あり	203,670	361,185	426,588	417,813	459,753	483,640	480,302	478,146
	服薬なし	336,925	354,847	340,711	495,684	570,033	447,713	482,106	466,918

⑤\_2\_1\_4\_服薬有無別医療費比較×女性×年齢階級別×入院外



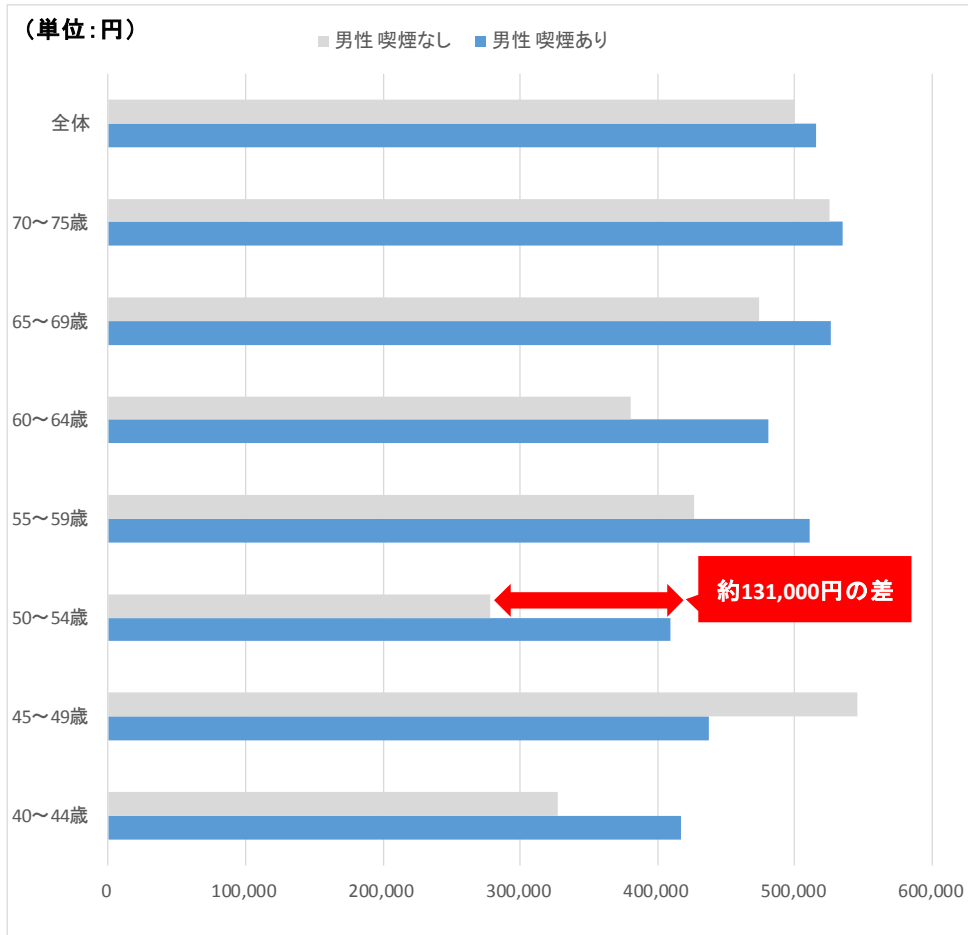
性別	服薬有無	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～75歳	全体
女性	服薬あり	13,028	10,598	11,043	9,980	9,770	9,813	10,758	10,431
	服薬なし	9,580	10,077	10,775	9,184	9,189	9,515	10,352	9,941



## ⑤\_2\_健診結果（問診を含むリスク状況）による医療費の違い

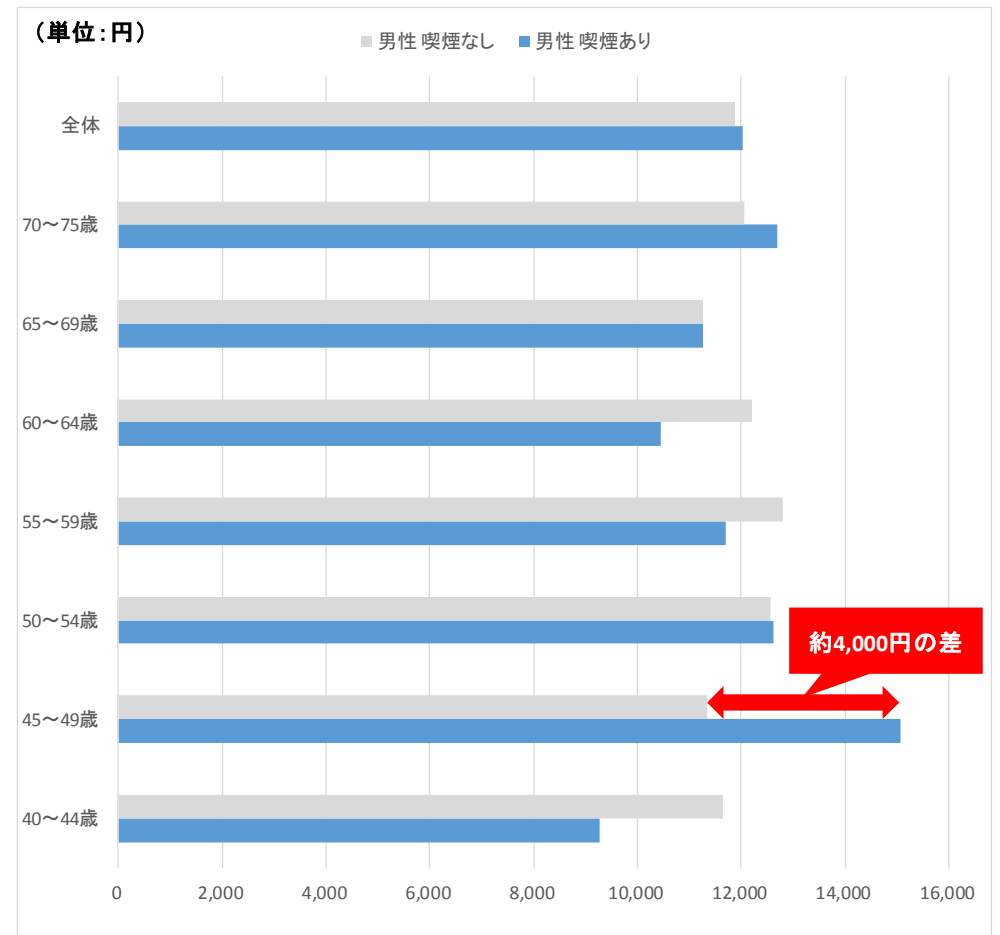
平成26年度のレセプトデータと平成24年度～平成26年度の過去3年間の特定健診データを突合し、男性の喫煙の有無によるレセプト1件あたり医療費の差を年齢階級別、入院、入院外別に示しました。入院においては、**50～54歳の年齢階級で、非喫煙者と比較して、喫煙者の医療費が約131,000円高額**となっています。入院外においては、**45～49歳の年齢階級で、非喫煙者と比較して、喫煙者の医療費が約4,000円高額**となっています。

⑤\_2\_2\_1\_喫煙有無別医療費比較×男性×年齢階級別×入院



性別	喫煙有無	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～75歳	全体
男性	喫煙あり	417,260	437,547	409,231	510,934	480,257	525,730	534,383	515,522
	喫煙なし	326,995	544,890	278,399	426,784	380,233	473,497	525,292	499,920

⑤\_2\_2\_2\_喫煙有無別医療費比較×男性×年齢階級別×入院外



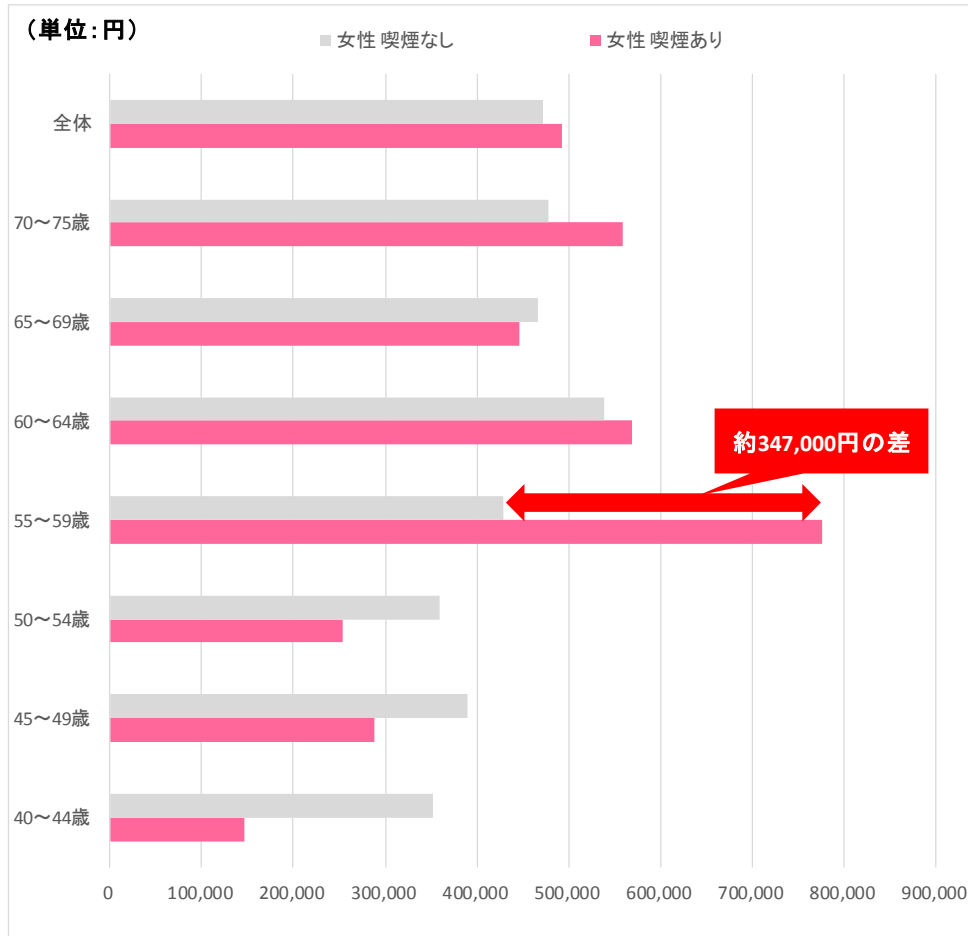
性別	喫煙有無	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～75歳	全体
男性	喫煙あり	9,265	15,071	12,613	11,697	10,438	11,270	12,705	12,042
	喫煙なし	11,655	11,349	12,560	12,786	12,197	11,261	12,046	11,880



## ⑤\_2\_健診結果（問診を含むリスク状況）による医療費の違い

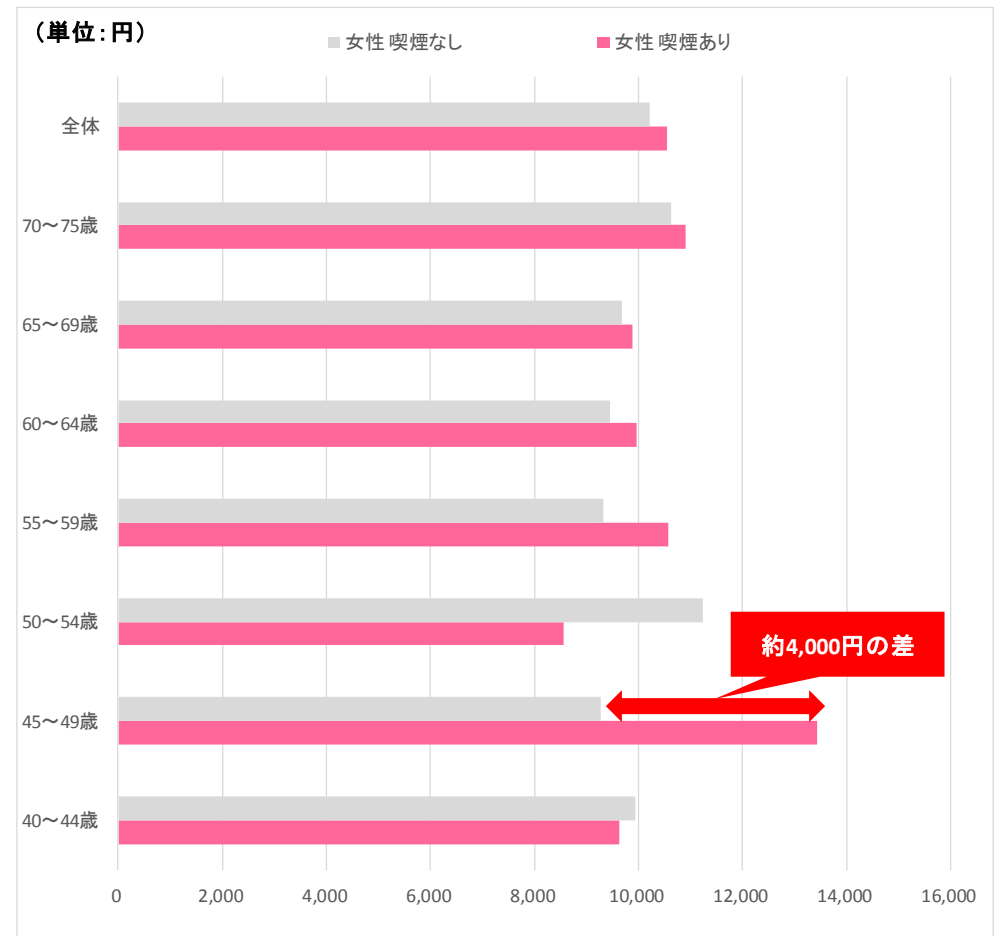
平成26年度のレセプトデータと平成24年度～平成26年度の過去3年間の特定健診データを突合し、女性の喫煙の有無によるレセプト1件あたり医療費の差を年齢階級別、入院、入院外別に示しました。入院においては、**55～59歳の年齢階級で、非喫煙者と比較して、喫煙者の医療費が347,000円高額**となっています。入院外においては、**45～49歳の年齢階級で、非喫煙者と比較して、喫煙者の医療費が4,000円高額**となっています。

⑤\_2\_2\_3\_喫煙有無別医療費比較×女性×年齢階級別×入院



性別	喫煙有無	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～75歳	全体
女性	喫煙あり	146,988	288,046	253,014	776,071	569,054	445,647	559,657	492,027
	喫煙なし	352,205	389,605	359,330	429,208	539,288	465,942	478,535	471,647

⑤\_2\_2\_4\_喫煙有無別医療費比較×女性×年齢階級別×入院外



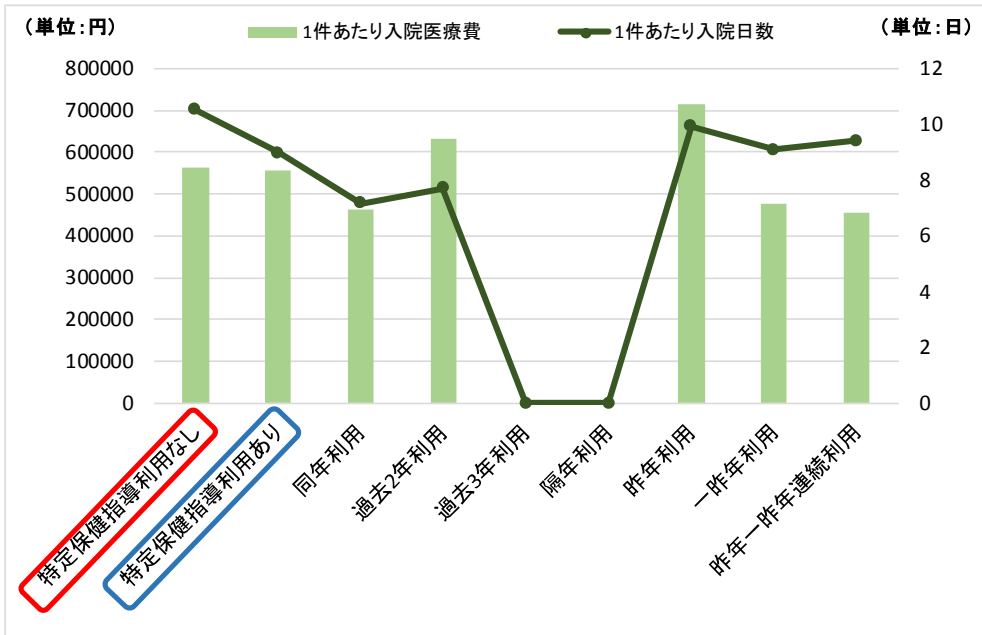
性別	喫煙有無	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～75歳	全体
女性	喫煙あり	9,639	13,438	8,548	10,579	9,973	9,888	10,914	10,550
	喫煙なし	9,947	9,265	11,232	9,328	9,458	9,691	10,619	10,223



## ⑤\_3\_ 特定保健指導の利用による医療費の違い

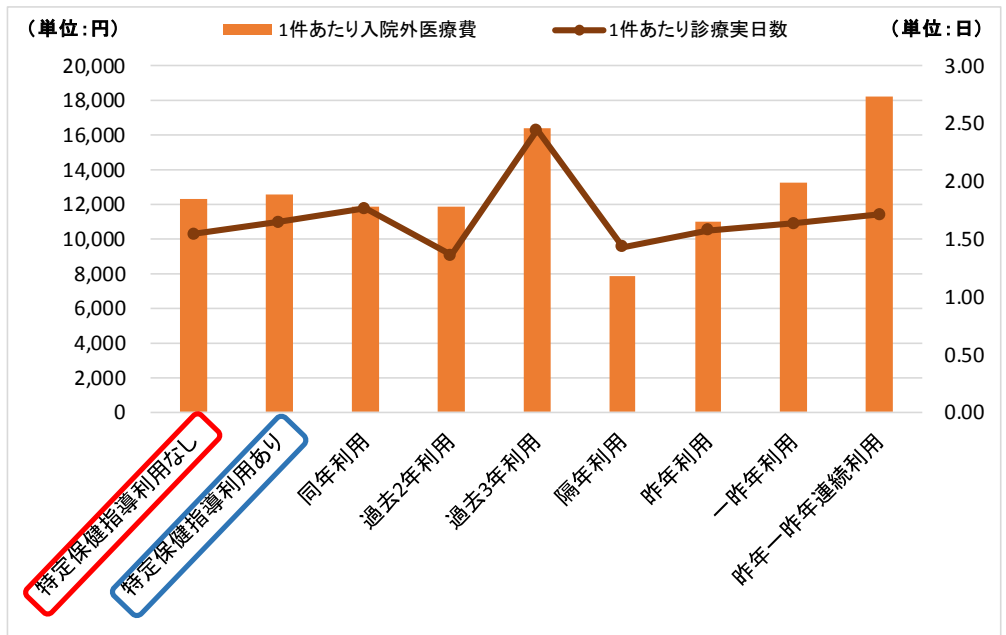
平成26年度のレセプトデータと平成24年度～平成26年度の過去3年間の特定保健指導データを突合し、3年連続で特定健診対象であり、3年間のうちいずれかの年度で特定保健指導対象となり、かつ生活習慣病関連疾患に罹患している被保険者の、過去3年の特定保健指導利用履歴によるレセプト1件あたりの診療実日数と医療費の差を入院、入院外別に示しました。入院においては、**特定保健指導利用経験のない被保険者の入院日数は、利用経験のある被保険者と比較して長期にわたる傾向**が認められました。入院外においては、診療実日数、医療費ともに顕著な差は認められませんでした。

⑤\_3\_1\_1\_ 特定保健指導利用履歴別医療費比較×入院



特定保健指導利用履歴	平成24年度	平成25年度	平成26年度	1件あたり入院日数	1件あたり入院医療費
特定保健指導利用なし				10.51	561,677
特定保健指導利用あり	○	○	○	8.99	555,500
同年利用			●	7.17	464,010
過去2年利用		●	●	7.71	632,954
過去3年利用	●	●	●	-	-
隔年利用	●		●	-	-
昨年利用		●		9.93	713,993
一昨年利用	●			9.08	477,705
昨年一昨年連続利用	●	●		9.42	454,853

⑤\_3\_1\_2\_ 特定保健指導利用履歴別医療費比較×入院外



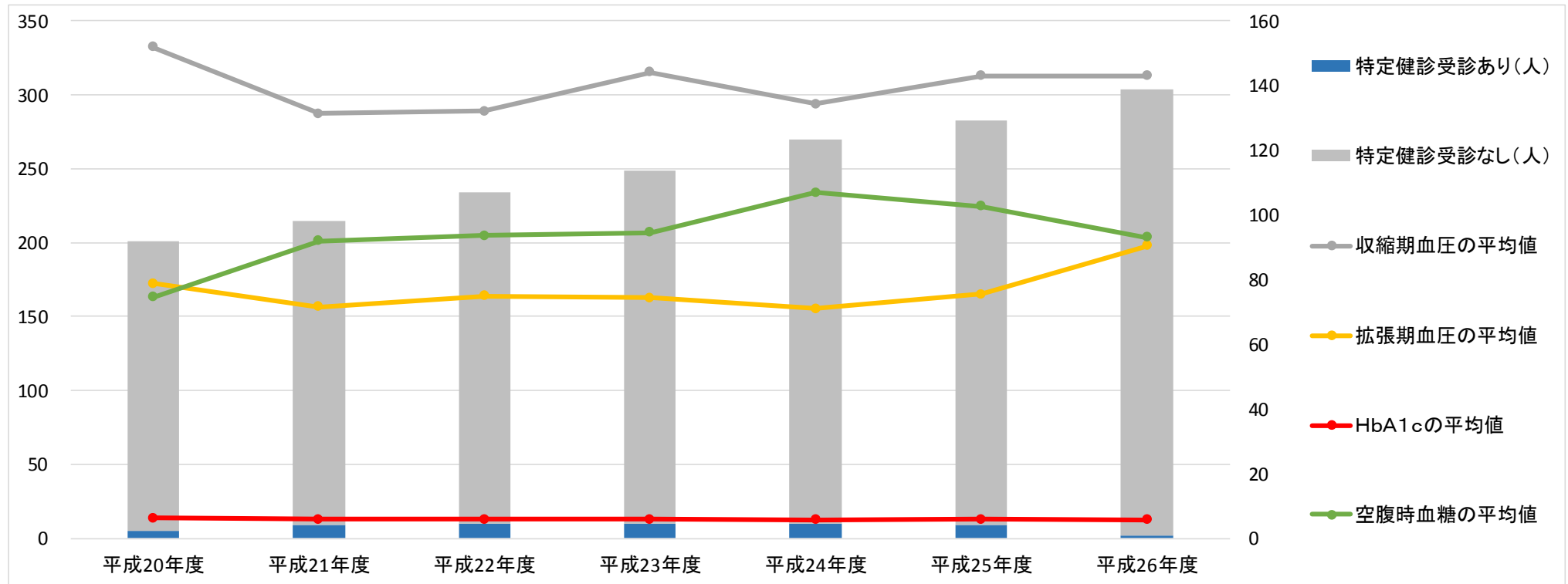
特定保健指導利用履歴	平成24年度	平成25年度	平成26年度	1件あたり診療実日数	1件あたり入院外医療費
特定保健指導利用なし				1.54	12,317
特定保健指導利用あり	○	○	○	1.64	12,589
同年利用			●	1.76	11,831
過去2年利用		●	●	1.36	11,887
過去3年利用	●	●	●	2.44	16,373
隔年利用	●		●	1.43	7,905
昨年利用		●		1.58	10,998
一昨年利用	●			1.64	13,288
昨年一昨年連続利用	●	●		1.71	18,187



## ⑤\_4\_生活習慣病重症患者（透析、循環器系重症疾患）の過去の健診結果

### ⑤\_4\_1\_人工透析実施被保険者の過去の健診結果

人工透析を実施している被保険者の、血糖、血圧、脂質、腎機能に関する特定健診結果の平均値について、平成20年度から平成26年度の年次推移を示しました。「収縮期血圧」や「HbA1c」といった項目で、保健指導判定値を超えた水準で推移しています。ただし、特定健診を受診している被保険者の割合が極めて低く、少ない母数での平均数値となっているので注意が必要です。生活習慣病の悪化による人工透析移行を防止するためにも、特定健診の受診率の向上に向けた働きかけが必要と考えられます。



	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
特定健診受診あり(人)	5	9	10	10	10	9	2
収縮期血圧の平均値	152.00	131.44	132.10	144.10	134.40	143.00	143.00
拡張期血圧の平均値	78.80	71.67	75.00	74.44	71.10	75.44	90.50
HbA1cの平均値	6.23	5.97	5.92	5.88	5.67	5.84	5.80
空腹時血糖の平均値	74.50	92.00	93.60	94.63	107.00	102.75	93.00
特定健診受診なし(人)	196	206	224	239	260	274	302

※レセプトデータと特定健診データが突合可能な被保険者のみを対象。



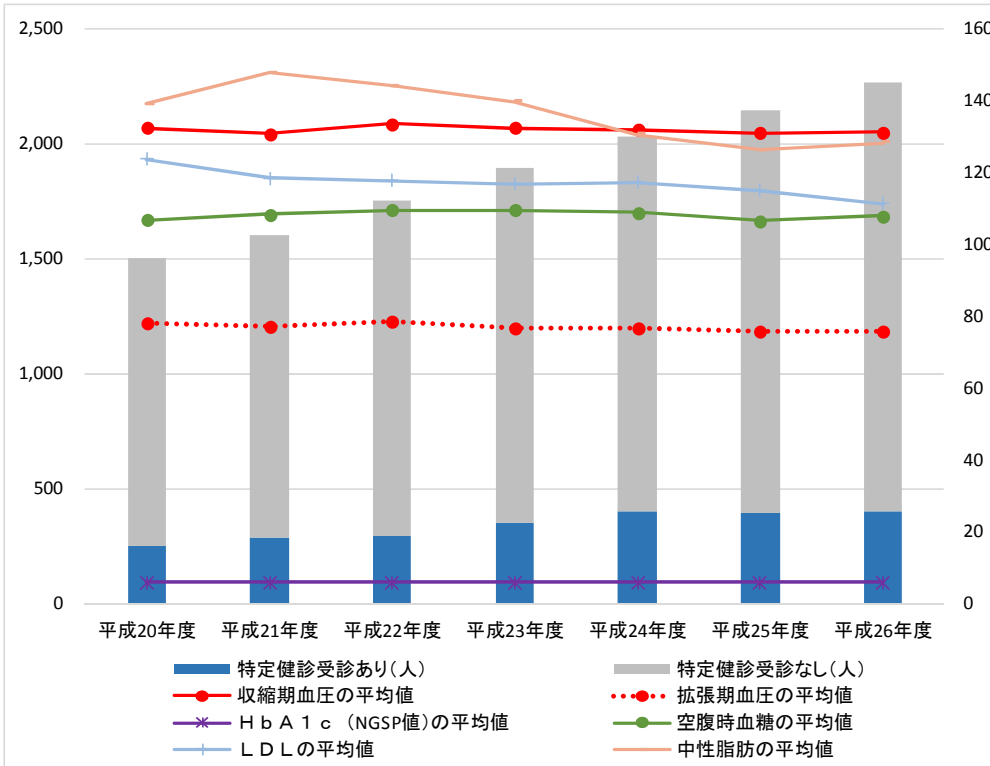


# ⑤\_4\_生活習慣病重症患者（透析、循環器系重症疾患）の過去の健診結果

## ⑤\_4\_2\_循環器系重症疾患（虚血性心疾患・脳血管疾患）罹患被保険者の過去の健診結果

平成26年度に虚血性心疾患で入院した被保険者の、特定健診結果の平均値について、平成20年度から平成26年度の年次推移を性別に示しました。  
**男性は期間を通して、収縮期血圧、HbA1c、空腹時血糖について保健指導判定値以上の水準で推移しています。女性は、収縮期血圧、HbA1c、LDLコレステロールについて、多くの年度で保健指導判定値以上の水準を示しています。**

⑤\_4\_2\_1\_虚血性心疾患入院被保険者(男性)の過去の健診結果(平成20年度～平成26年度)

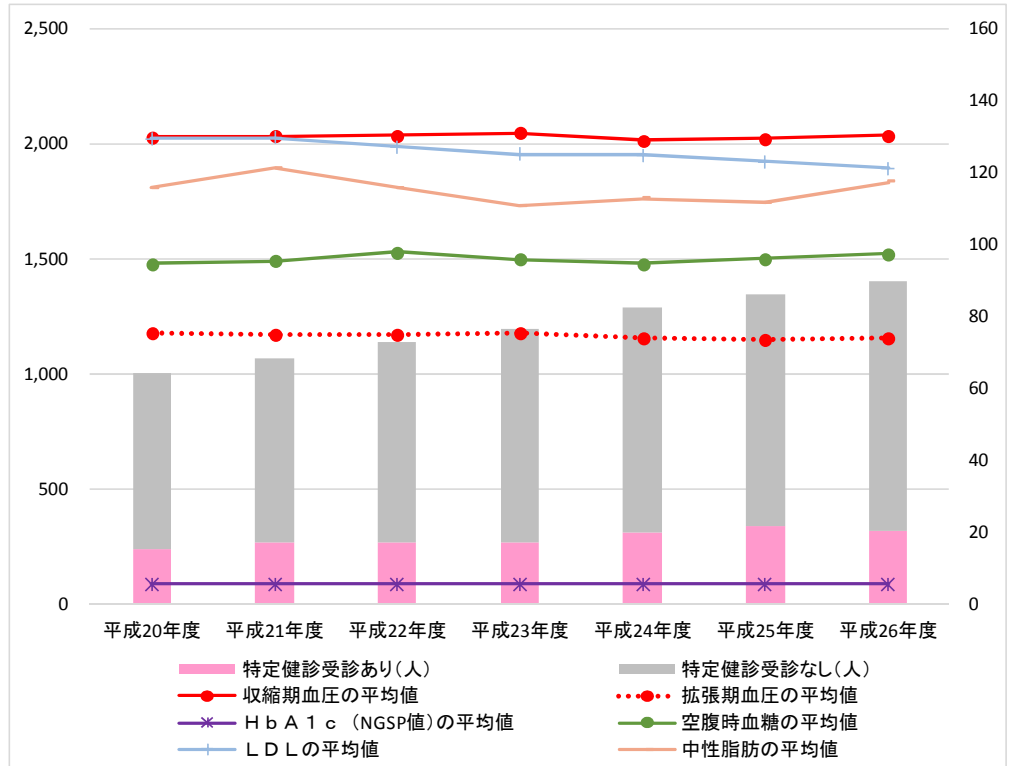


	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
特定健診受診あり(人)	252	285	291	352	399	393	402
収縮期血圧の平均値	132.25	130.74	133.46	132.16	131.84	130.88	131.21
拡張期血圧の平均値	77.78	76.89	78.59	76.60	76.68	75.53	75.90
HbA1c(NGSP値)の平均値	5.90	5.83	5.94	5.98	5.87	5.89	5.89
空腹時血糖の平均値	106.57	108.31	109.31	109.49	108.73	106.49	107.80
LDLの平均値	123.52	118.25	117.62	116.61	117.23	114.99	111.13
中性脂肪の平均値	138.82	147.48	143.84	139.46	130.42	126.03	128.15
特定健診受診なし(人)	1,251	1,318	1,460	1,540	1,629	1,753	1,866

※レセプトと特定健診データが突合可能な被保険者のみを対象。

…保健指導判定値以上

⑤\_4\_2\_2\_虚血性心疾患入院被保険者(女性)の過去の健診結果(平成20年度～平成26年度)



	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
特定健診受診あり(人)	241	271	268	271	313	337	317
収縮期血圧の平均値	129.85	129.96	130.32	130.94	128.94	129.42	130.22
拡張期血圧の平均値	75.47	74.93	75.04	75.20	74.10	73.69	74.08
HbA1c(NGSP値)の平均値	5.71	5.60	5.68	5.72	5.60	5.68	5.69
空腹時血糖の平均値	94.67	95.28	97.90	95.88	94.59	96.02	97.51
LDLの平均値	129.29	129.61	127.16	124.89	124.73	123.06	121.20
中性脂肪の平均値	115.59	121.14	115.74	110.62	112.59	111.52	117.34
特定健診受診なし(人)	762	795	868	924	972	1,006	1,088

※レセプトと特定健診データが突合可能な被保険者のみを対象。

…保健指導判定値以上

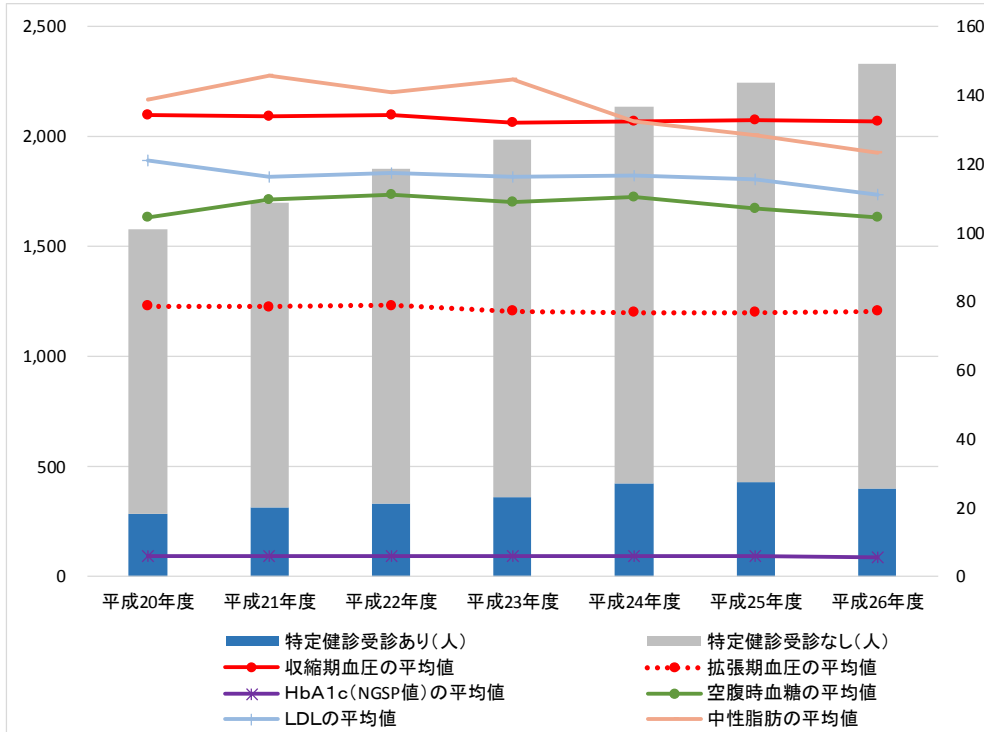


# ⑤\_4\_生活習慣病重症患者（透析、循環器系重症疾患）の過去の健診結果

## ⑤\_4\_2\_循環器系重症疾患（虚血性心疾患・脳血管疾患）罹患被保険者の過去の健診結果

平成26年度に脳血管疾患で入院した被保険者の、特定健診結果の平均値について、平成20年度から平成26年度の年次推移を性別に示しました。**男性は期間を通して、収縮期血圧、HbA1c、空腹時血糖について保健指導判定値以上の水準で推移**しています。**女性は、ほぼ期間を通して、収縮期血圧、HbA1c、LDLコレステロールについて保健指導判定値以上の水準で推移**しています。

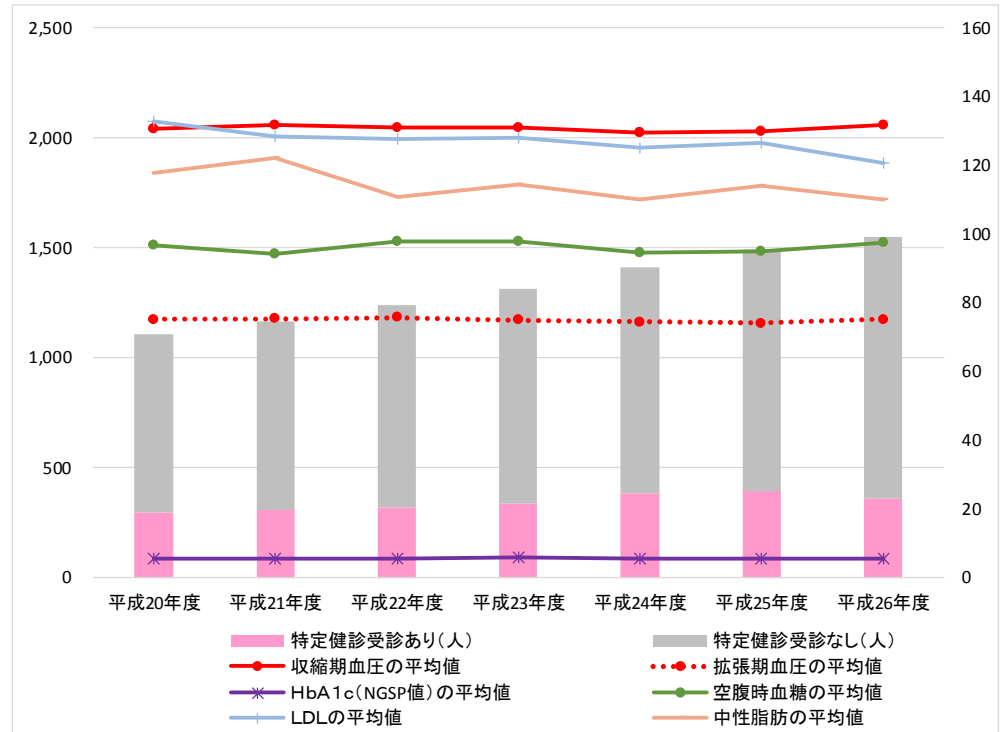
⑤\_4\_2\_3\_脳血管疾患入院被保険者(男性)の過去の健診結果(平成20年度～平成26年度)



	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
特定健診受診あり(人)	288	318	331	364	422	431	401
収縮期血圧の平均値	134.21	134.03	134.24	132.01	132.36	132.81	132.38
拡張期血圧の平均値	78.67	78.61	78.96	77.31	76.81	76.83	77.25
HbA1c(NGSP値)の平均値	5.85	5.89	5.94	6.01	5.94	5.88	5.82
空腹時血糖の平均値	104.66	109.52	111.11	109.06	110.51	107.30	104.63
LDLの平均値	121.16	116.41	117.44	116.28	116.84	115.42	111.02
中性脂肪の平均値	138.89	145.64	141.12	144.52	132.61	128.38	123.37
特定健診受診なし(人)	1,291	1,382	1,524	1,621	1,713	1,813	1,928

※レセプトと特定健診データが突合可能な被保険者のみを対象。 ■■■■ …保健指導判定値以上

⑤\_4\_2\_4\_脳血管疾患入院被保険者(女性)の過去の健診結果(平成20年度～平成26年度)



	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
特定健診受診あり(人)	297	311	320	335	383	397	358
収縮期血圧の平均値	130.77	131.84	131.07	131.01	129.42	129.93	131.91
拡張期血圧の平均値	75.11	75.27	75.70	75.08	74.52	74.11	75.09
HbA1c(NGSP値)の平均値	5.73	5.66	5.71	5.75	5.63	5.65	5.70
空腹時血糖の平均値	96.89	94.03	97.85	97.77	94.45	94.92	97.50
LDLの平均値	132.75	128.61	127.78	128.21	125.09	126.43	120.76
中性脂肪の平均値	117.64	122.21	110.64	114.61	109.95	113.93	109.88
特定健診受診なし(人)	811	852	918	979	1,029	1,098	1,191

※レセプトと特定健診データが突合可能な被保険者のみを対象。 ■■■■ …保健指導判定値以上



## ⑤\_特定健診結果と平成26年度レセプトの突合分析 まとめ

- 特定健診受診経験のない被保険者の入院日数は受診経験のある被保険者と比較して長期化し、入院外医療費は高額化する傾向がありました。
- 特定保健指導利用経験のない被保険者の入院日数は利用経験のある被保険者と比較して長期化する傾向がありました。
- 医療費を服薬の有無別、性別、年齢階級別に比較すると、最も差が大きかった性別、年齢階級で、服薬のある被保険者の医療費は服薬のない被保険者と比較して、入院で約170,000円、入院外で約4,000円高額となりました。
- 医療費を喫煙習慣の有無別、性別、年齢階級別に比較すると、最も差が大きかった性別、年齢階級で、喫煙習慣のある被保険者の医療費は、喫煙習慣のない被保険者と比較して、入院で約347,000円、入院外で約4,000円高額となりました。
- 虚血性心疾患や脳血管疾患など、循環器系重症疾患の過去の7年間の健診結果を見ると、血圧に関する項目が、保健指導判定値を超えた水準で推移していました。



特定健診や、特定保健指導の利用により、診療日数や医療費の軽減効果が出ていることや、喫煙習慣のある被保険者の医療費が高額化する傾向があることがわかりました。

また、循環器系重症疾患に罹患した被保険者の過去の検査結果が、保健指導判定値以上の水準で推移していることがわかりました。

不健康な生活習慣や、各リスクを放置することは、生活習慣病発症、重症化の要因となり、結果として医療費の増大を招くことと、それらを防止するための特定健診や特定保健指導の意義を被保険者に周知・啓発し、健康増進意識の向上を図っていく必要があります。



[平成27年度岡山市国民健康保険医療費等分析報告書]

## ⑥\_保健事業の評価分析

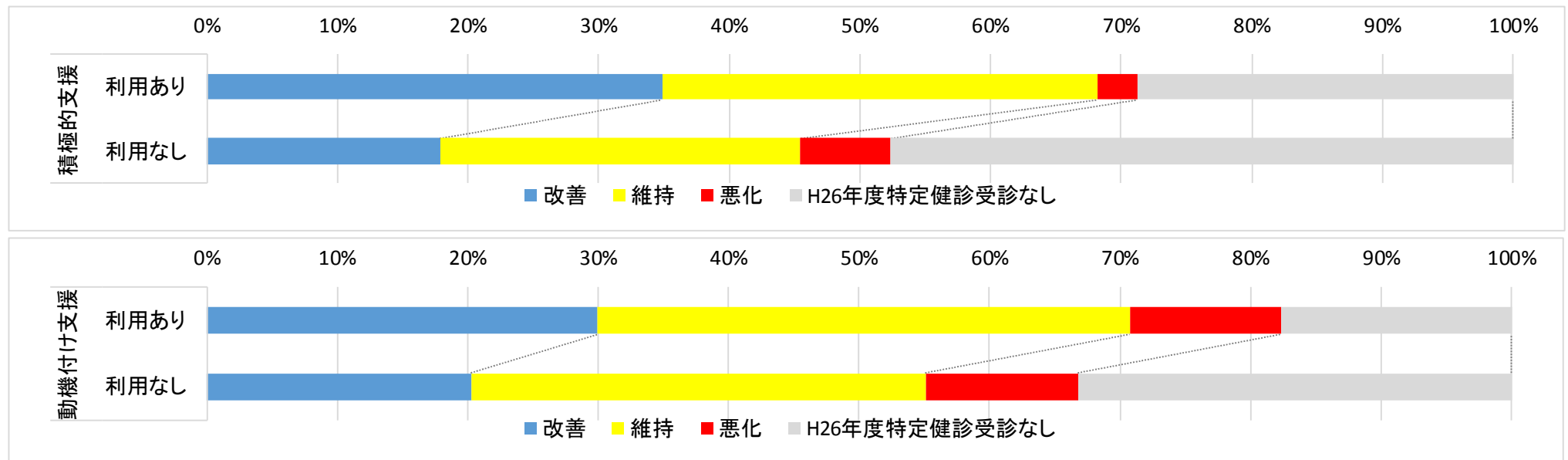


## ⑥\_1\_特定保健指導（利用有無による翌年度健診結果等）

### ⑥\_1\_1\_特定保健指導利用有無による改善状況の比較（平成25年度～平成26年度）

平成25年度の特定保健指導対象者の、保健指導レベル及び利用の有無による、平成26年度の改善状況の比較を示しました。

特定保健指導を利用することで改善した被保険者の構成比率は積極的支援が全体の34.85%、動機付け支援が全体の30.00%と、特定保健指導を利用せずに改善した被保険者の構成比率と比較して上回っています。また、特定保健指導を利用して悪化した被保険者の構成比率は、積極的支援が3.03%、動機付け支援が11.54%と特定保健指導を利用せずに悪化した被保険者の構成比率と比較して下回っています。このことから、特定保健指導により、検査結果を改善し、悪化を防止するという効果があがっているものと考えられます。



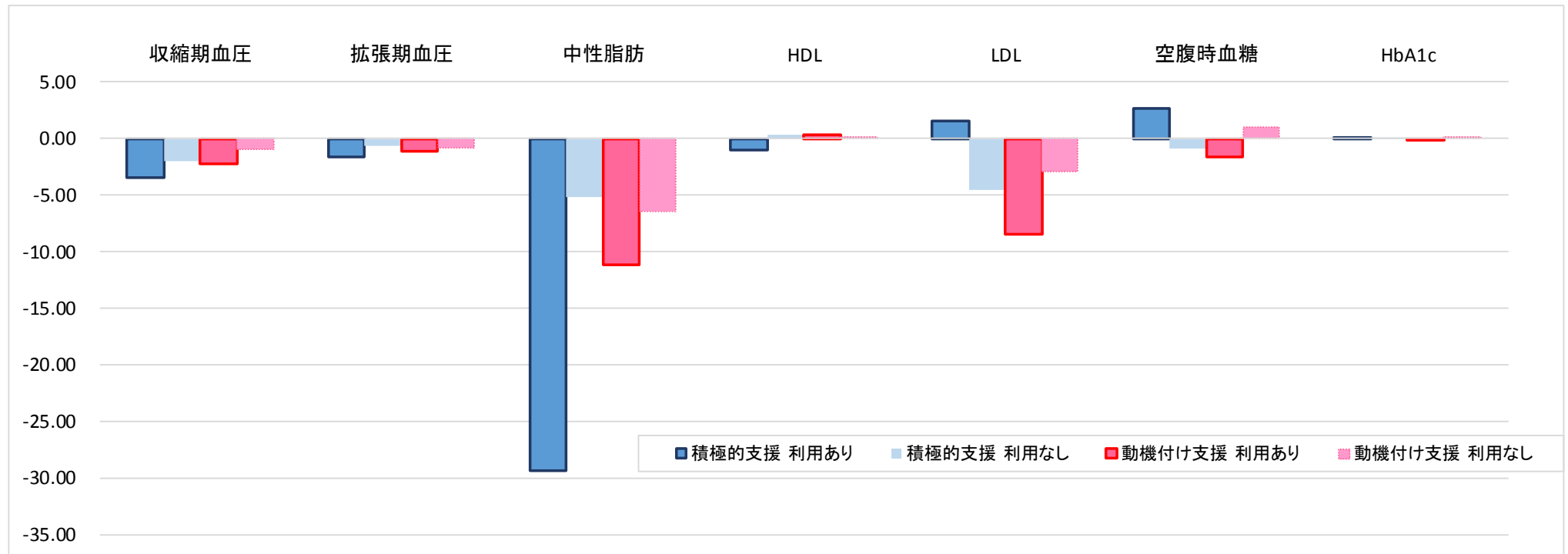
全体	保健指導レベル	特定保健指導実施有無	改善		維持		悪化		H26年度特定健診受診なし		総計	
			被保険者数		被保険者数		被保険者数		被保険者数		被保険者数	
			人	構成比率	人	構成比率	人	構成比率	人	構成比率	人	構成比率
積極的支援	利用あり		23	34.85%	22	33.33%	2	3.03%	19	64.41%	66	100.00%
	利用なし		142	17.84%	220	27.64%	55	6.91%	379	47.61%	796	100.00%
			165	19.14%	242	28.07%	57	6.61%	398	46.17%	862	100.00%
動機付け支援	利用あり		117	30.00%	159	40.77%	45	11.54%	69	17.69%	390	100.00%
	利用なし		517	20.28%	887	34.80%	298	11.69%	847	33.23%	2,549	100.00%
			634	21.57%	1,046	35.59%	343	11.67%	916	31.17%	2,939	100.00%
			799	21.02%	1,288	33.89%	400	10.52%	1,314	34.57%	3,801	100.00%



## ⑥\_1\_特定保健指導（利用有無による翌年度健診結果等）

### ⑥\_1\_2\_特定保健指導利用有無による検査結果の変動比較（平成25年度～平成26年度）

平成25年度の特定保健指導対象者の特定健診結果と、平成26年度の健診結果を比較した、検査結果の改善、悪化を含めた変動幅の平均値について、保健指導レベル、利用の有無による比較を示しました。積極的支援を利用した被保険者は、利用しなかった被保険者と比較して、3項目で健診結果の改善度合いが高い値を示しました。動機付け支援を利用した被保険者は、利用しなかった被保険者と比較して、全ての項目で健診結果の改善度合いが高い値を示しました。



青字 ……利用ありが利用なしと比較して改善している

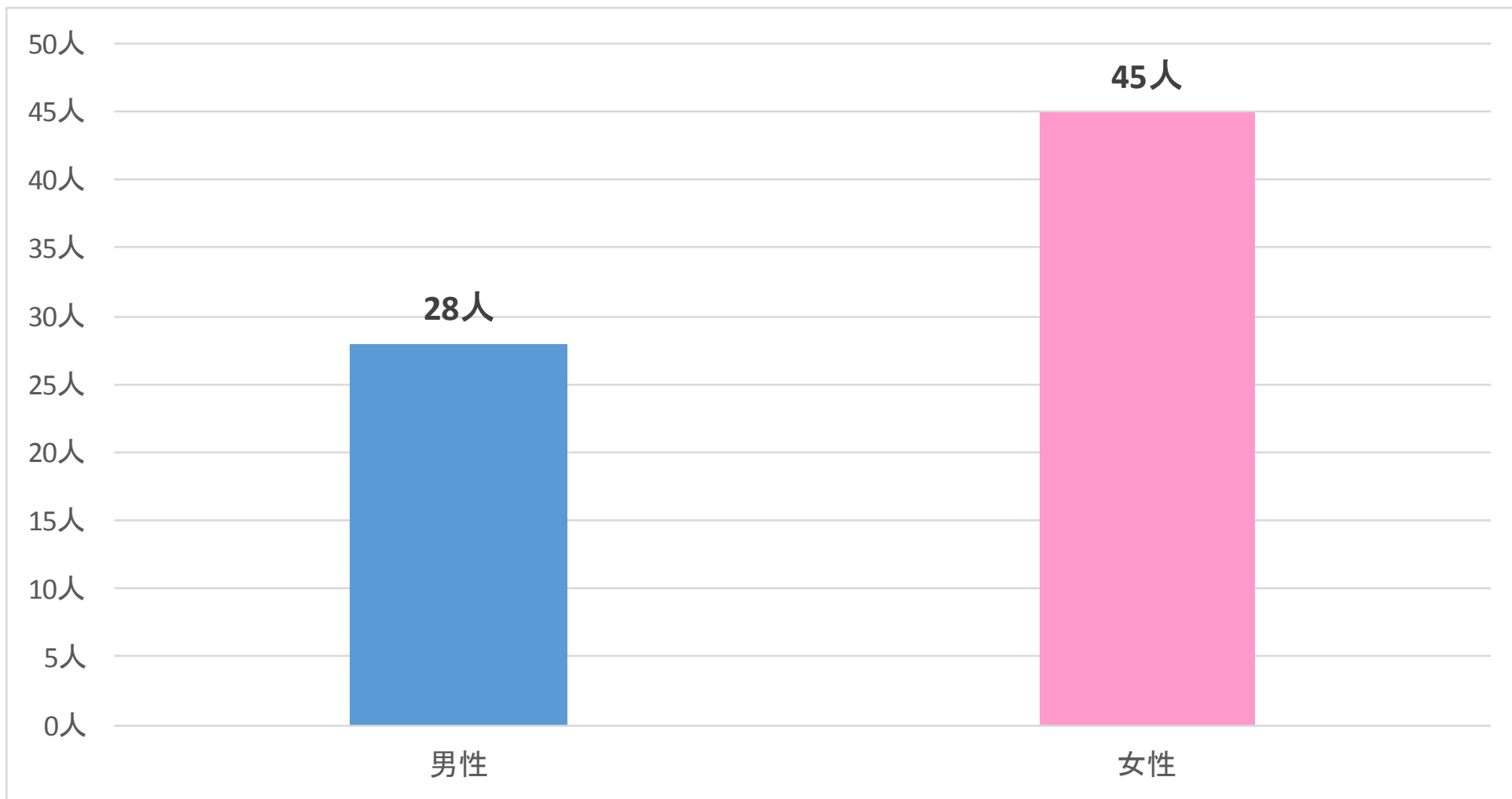
保健指導レベル	特定保健指導利用有無	被保険者数	収縮期血圧	拡張期血圧	中性脂肪	HDL	LDL	空腹時血糖	HbA1c
積極的支援	利用あり	66人	-3.47	-1.57	-29.34	-0.98	1.53	2.68	0.04
	利用なし	796人	-2.00	-0.65	-5.12	0.32	-4.58	-0.93	0.01
動機付け支援	利用あり	390人	-2.18	-1.07	-11.12	0.40	-8.40	-1.59	-0.02
	利用なし	2,549人	-0.90	-0.80	-6.40	0.19	-2.94	1.03	0.01



## ⑥\_2\_フォローアップ保健指導（利用有無による翌年度健診結果）

### ⑥\_2\_1\_フォローアップ保健指導利用状況（平成25年度）

岡山市国民健康保険で実施している、メタボリックシンドローム以外で腎機能や血圧・血糖・脂質・尿酸の結果が基準を超え、リスク数が一定数以上の被保険者を対象とした『フォローアップ保健指導』の利用状況を性別に示しました。利用者数全体で73人、性別の内訳としては男性28人、女性45人となっており、女性が多くなっています。対象者数は女性が多いため、フォローアップ保健指導利用率の向上のためには、女性に対する利用勧奨の強化が必要となります。



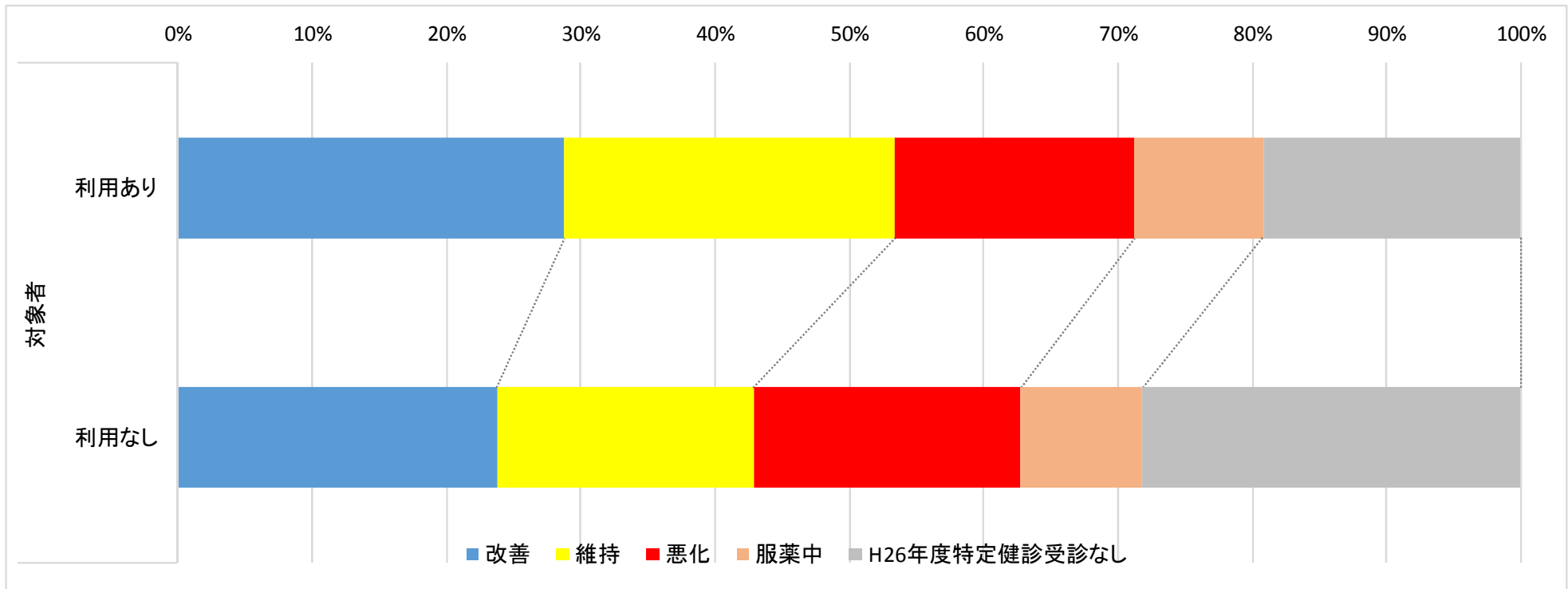


## ⑥\_2\_フォローアップ保健指導（利用有無による翌年度健診結果）

### ⑥\_2\_2\_フォローアップ保健指導利用有無による改善状況の比較（平成25年度～平成26年度）

平成25年度のフォローアップ保健指導対象者の、保健指導レベル及び利用の有無による、平成26年度の改善状況の比較を示しました。

フォローアップ保健指導を利用することで改善した被保険者の構成比率は全体の28.77%と、フォローアップ保健指導を利用せずに改善した被保険者の構成比率23.77%と比較して上回っています。また、フォローアップ保健指導を利用して維持した被保険者の構成比率は24.66%と、フォローアップ保健指導を利用せずに維持した被保険者の構成比率19.12%と比較して上回っています。このことから、フォローアップ保健指導により、検査結果を改善、維持するという効果があがっているものと考えられます。



対象者	フォローアップ 保健指導利用有無	改善		維持		悪化		服薬中		H26年度特定健診 受診なし		総計	
		被保険者数		被保険者数		被保険者数		被保険者数		被保険者数		被保険者数	
		人	構成比率	人	構成比率	人	構成比率	人	構成比率	人	構成比率	人	構成比率
	利用あり	21	28.77%	18	24.66%	13	17.80%	7	9.59%	14	19.18%	73	100.00%
	利用なし	97	23.77%	78	19.12%	81	19.80%	37	9.07%	115	28.19%	408	100.00%
		118	24.53%	96	19.96%	94	19.54%	44	9.15%	129	26.82%	481	100.00%

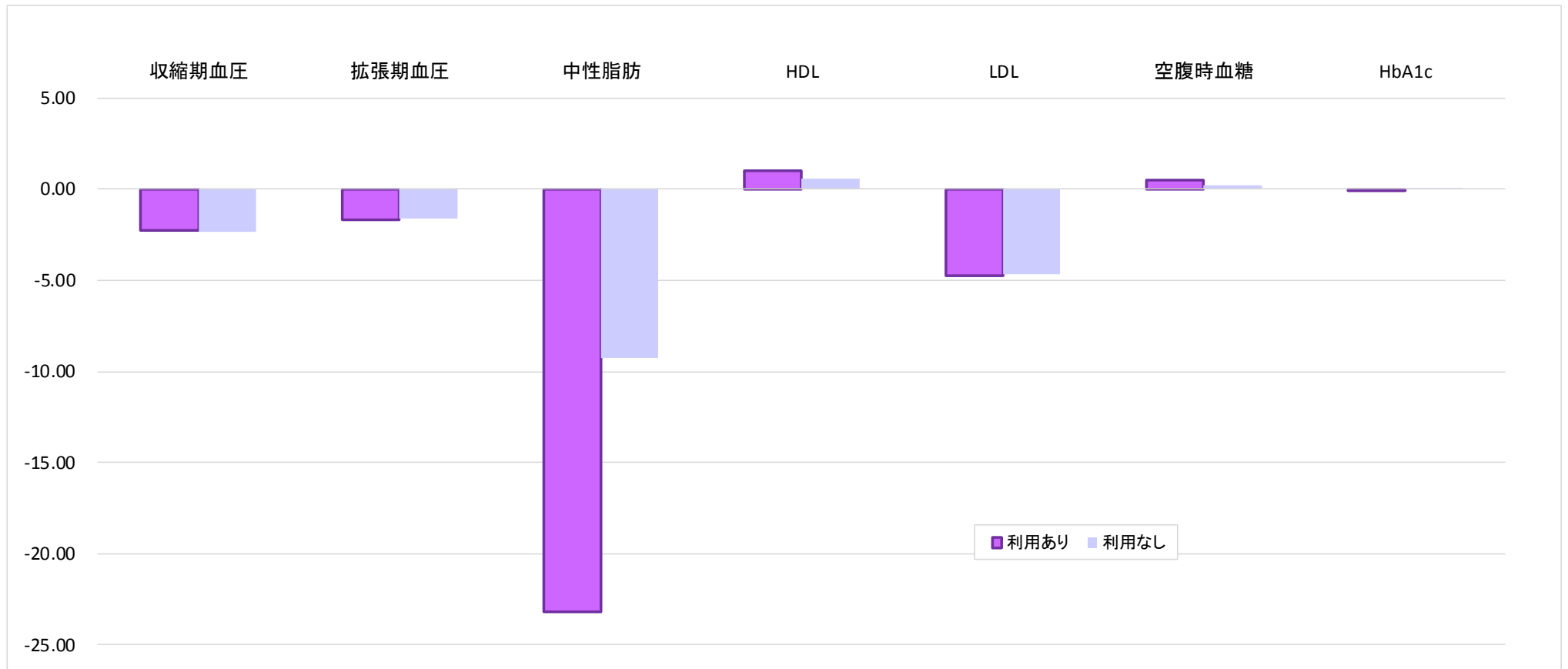




## ⑥\_2\_フォローアップ保健指導（利用有無による翌年度健診結果）

### ⑥\_2\_3\_フォローアップ保健指導利用有無による検査結果の変動比較（平成25年度～平成26年度）

平成25年度のフォローアップ保健指導対象者の特定健診結果と、平成26年度の健診結果を比較した、検査結果の改善、悪化を含めた変動幅の平均値について、利用の有無による比較を示しました。**フォローアップ保健指導を利用した被保険者は、利用しなかった被保険者と比較して、5項目で健診結果の改善度合いが高い値**を示しました。



青字・・・利用ありが利用なしと比較して改善している

フォローアップ保健指導 利用有無	被保険者数	収縮期血圧	拡張期血圧	中性脂肪	HDL	LDL	空腹時血糖	HbA1c
利用あり	73人	-2.26	-1.69	-23.15	0.98	-4.77	0.48	-0.003
利用なし	408人	-2.37	-1.58	-9.24	0.59	-4.66	0.22	0.03



## ⑥\_保健事業の評価分析 まとめ

- 特定保健指導の利用有無による検査結果の改善状況を、被保険者数の構成比率で見ると、特定保健指導を利用し検査結果が改善した被保険者の構成比率は、特定保健指導を利用せずに改善した被保険者の構成比率と比較して上回っていました。
- 特定保健指導の利用有無による検査結果の改善幅を比較すると、多くの検査項目で、特定保健指導を利用した被保険者の検査結果の改善幅は、特定保健指導を利用しなかった被保険者の改善幅と比較して、高い値を示していました。
- メタボリックシンドローム以外で腎機能や血圧・血糖・脂質・尿酸の結果が基準を超え、リスク数が一定数以上の被保険者を対象としたフォローアップ保健指導利用者数は男性28名、女性45名となっています。
- フォローアップ保健指導を利用することで検査結果を改善、維持した被保険者の構成比率は、フォローアップ保健指導を利用せずに改善、維持した被保険者の構成比率を上回っていました。
- フォローアップ保健指導を利用した被保険者は、利用しなかった被保険者と比較して、健診結果の改善度合いが高い値を示していました。



特定保健指導を利用することで検査結果の改善した被保険者は利用しなかった被保険者と比べて多く、個別の検査結果の数値の改善幅も、利用した被保険者の改善幅が大きく、特定保健指導による効果が上がっていると考えられます。

また、岡山市国民健康保険にて独自に実施しているフォローアップ保健指導についても、利用者の健康状況の維持、改善に効果を発揮しています。

ただし、特定保健指導、フォローアップ保健指導ともに利用率は十分であるとは言えず、健康状況の改善効果など、利用意義の周知・啓発をはかりつつ、勧奨による利用率の向上を図っていく必要があります。



**[平成27年度岡山市国民健康保険医療費等分析報告書]**

## **⑦効果的・効率的な保健事業の提案**

## ⑦\_0\_健康課題からみた実施保健事業

分析結果によって得られた健康課題をもとに、岡山市国民健康保険が実施する保健事業を以下の6事業に整理しました。

1

特定健診受診率向上対策事業

2

特定保健指導対象者フォロー対策事業

3

慢性腎臓疾患（CKD）対策事業

4

生活習慣病重症化予防対策事業

5

適正受診啓発事業

6

後発医薬品普及促進事業

# ⑦\_1\_特定健診受診率向上対策事業

## ⑦\_1\_1\_特定健診受診履歴別被保険者数×年齢階級別（平成24年度～平成26年度）

平成24年度から平成26年度の期間における特定健診の受診履歴別の被保険者数を、年齢階級別に示しました。平成24年度から平成26年度の期間で特定健診の受診履歴の無い被保険者は、81,941名となり、全体の68.4%を占めます。特定健診受診履歴の無い被保険者を年齢階級別に見ると、特に65～75歳の年齢階級の構成比率が高くなっています。また、平成24年度に特定健診を受診して以降直近の2年間で特定健診受診履歴の無い被保険者も3,424名、全体の2.9%存在しました。特定健診受診率向上のために、特に直近の期間で特定健診受診履歴の無い被保険者を対象に、受診勧奨などの働きかけを強化していく必要があると考えられます。

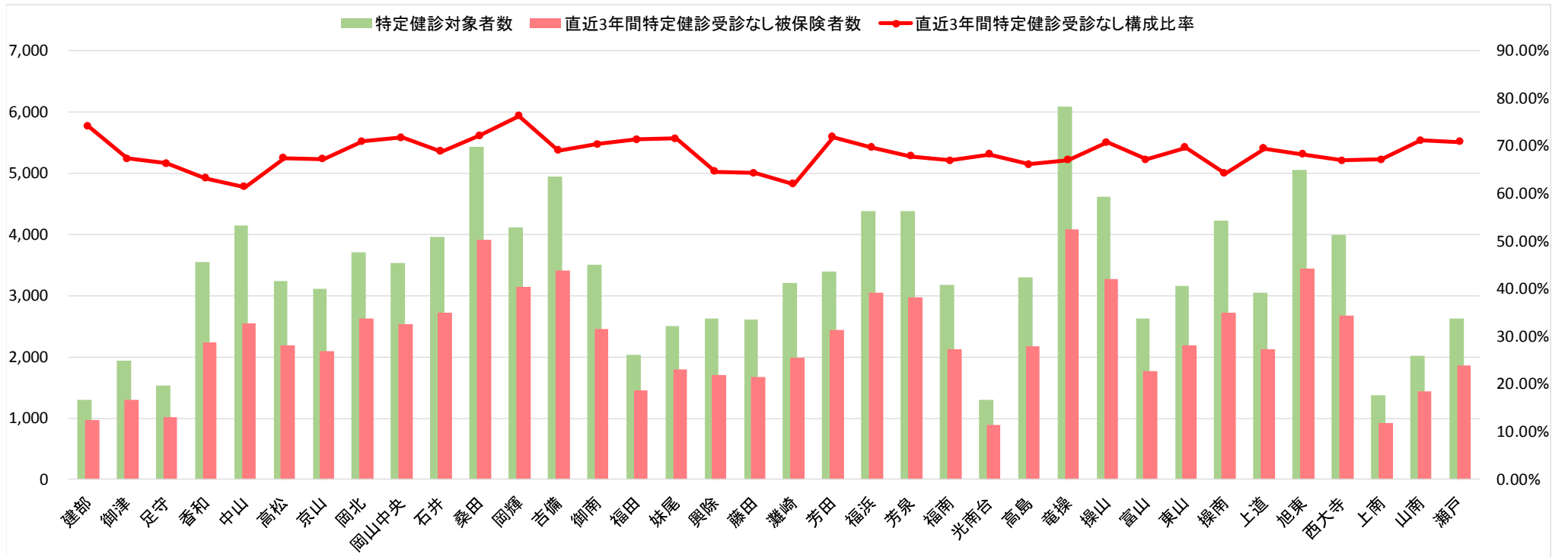
特定健診受診履歴				年齢階級別被保険者数															
履歴	平成24年度	平成25年度	平成26年度	40～44歳		45～49歳		50～54歳		55～59歳		60～64歳		65～69歳		70～75歳		全体	
				人数(人)	構成比率(%)	人数(人)	構成比率(%)	人数(人)	構成比率(%)	人数(人)	構成比率(%)	人数(人)	構成比率(%)	人数(人)	構成比率(%)	人数(人)	構成比率(%)	人数(人)	構成比率(%)
無				8,087	6.8%	7,221	6.0%	6,171	5.2%	6,747	5.6%	10,988	9.2%	22,070	18.4%	20,657	17.3%	81,941	68.4%
同年受診			●	628	0.5%	387	0.3%	327	0.3%	421	0.4%	1,007	0.8%	2,319	1.9%	2,153	1.8%	7,242	6.0%
過去2年受診		●	●	193	0.2%	161	0.1%	161	0.1%	219	0.2%	600	0.5%	1,520	1.3%	1,714	1.4%	4,568	3.8%
過去3年受診	●	●	●	157	0.1%	371	0.3%	455	0.4%	583	0.5%	1,346	1.1%	4,433	3.7%	7,396	6.2%	14,741	12.3%
隔年受診	●		●	50	0.0%	118	0.1%	92	0.1%	120	0.1%	215	0.2%	605	0.5%	923	0.8%	2,123	1.8%
昨年受診		●		213	0.2%	236	0.2%	189	0.2%	206	0.2%	410	0.3%	1,003	0.8%	1,138	1.0%	3,395	2.8%
一昨年受診	●			178	0.1%	184	0.2%	171	0.1%	216	0.2%	418	0.3%	995	0.8%	1,262	1.1%	3,424	2.9%
昨年一昨年連続受診	●	●		45	0.0%	93	0.1%	95	0.1%	116	0.1%	248	0.2%	673	0.6%	1,032	0.9%	2,302	1.9%
計				9,551	8.0%	8,771	7.3%	7,661	6.4%	8,628	7.2%	15,232	12.7%	33,618	28.1%	36,275	30.3%	119,736	100.0%

# ⑦\_1\_特定健診受診率向上対策事業

## ⑦\_1\_2\_特定健診受診履歴無し被保険者数×地区別（平成24年度～平成26年度）

平成24年度から平成26年度の期間において特定健診受診履歴の無い被保険者数とその構成比率を、地区別に示しました。

「建部」、「岡山中央」、「桑田」、「岡輝」、「妹尾」、「芳田」といった地域で、地区ごとの特定健診対象者数に対して、直近3年間で特定健診受診履歴の無い被保険者数の占める構成比率が高くなっています。これらの地域を優先的な対象として、特定健診の受診勧奨などを行っていく必要があります。



	建部	御津	足守	香和	中山	高松	京山	岡北	岡山中央	石井	桑田	岡輝	吉備	御南	福田	妹尾	興除	藤田
特定健診対象者数	1,304	1,938	1,526	3,546	4,143	3,243	3,121	3,712	3,535	3,958	5,426	4,116	4,944	3,501	2,035	2,505	2,627	2,607
直近3年間特定健診受診なし被保険者数	968	1,306	1,012	2,243	2,546	2,189	2,098	2,633	2,539	2,725	3,916	3,142	3,414	2,462	1,452	1,792	1,698	1,676
構成比率	74.23%	67.39%	66.32%	63.25%	61.45%	67.50%	67.22%	70.93%	71.82%	68.85%	72.17%	76.34%	69.05%	70.32%	71.35%	71.54%	64.64%	64.29%

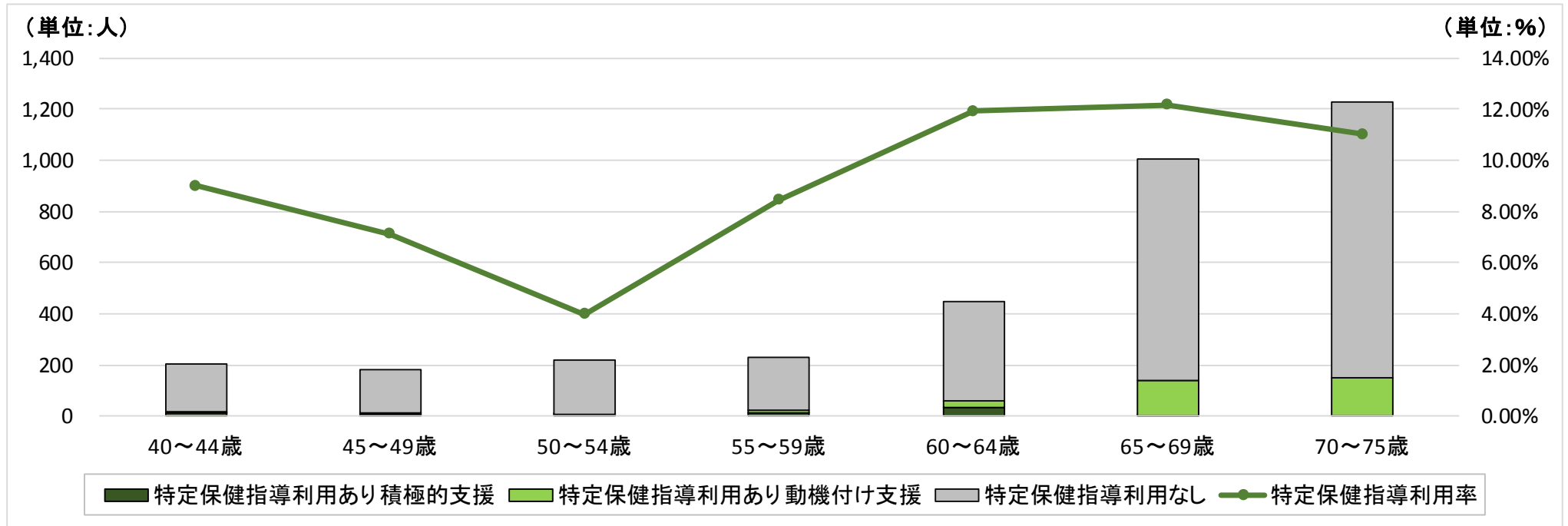
	瀬崎	芳田	福浜	芳泉	福南	光南台	高島	竜操	操山	富山	東山	操南	上道	旭東	西大寺	上南	山南	瀬戸	総計
特定健診対象者数	3,208	3,395	4,377	4,383	3,169	1,301	3,296	6,092	4,621	2,623	3,154	4,231	3,053	5,052	3,986	1,369	2,011	2,628	119,736
直近3年間特定健診受診なし被保険者数	1,990	2,441	3,050	2,976	2,123	888	2,181	4,086	3,269	1,761	2,196	2,717	2,122	3,446	2,670	919	1,432	1,863	81,941
構成比率	62.03%	71.90%	69.68%	67.90%	66.99%	68.26%	66.17%	67.07%	70.74%	67.14%	69.63%	64.22%	69.51%	68.21%	66.98%	67.13%	71.21%	70.89%	68.43%

■・・・全体平均より3%以上高い

# ⑦\_2\_特定保健指導対象者フォロー対策事業

## ⑦\_2\_1\_特定保健指導利用状況（平成26年度）

平成26年度の特定保健指導利用状況を、保健指導レベル別、年齢階級別に示しました。特定保健指導利用率は「50～54歳」の年齢階級で顕著に低くなっています。この年齢階級をはじめとして、59歳以下の年齢階級は、特定保健指導利用率が全体平均を下回っているため、特定保健指導利用率の向上のためには、比較的若年世代に対しての特定保健指導利用勧奨の強化が必要と考えられます。



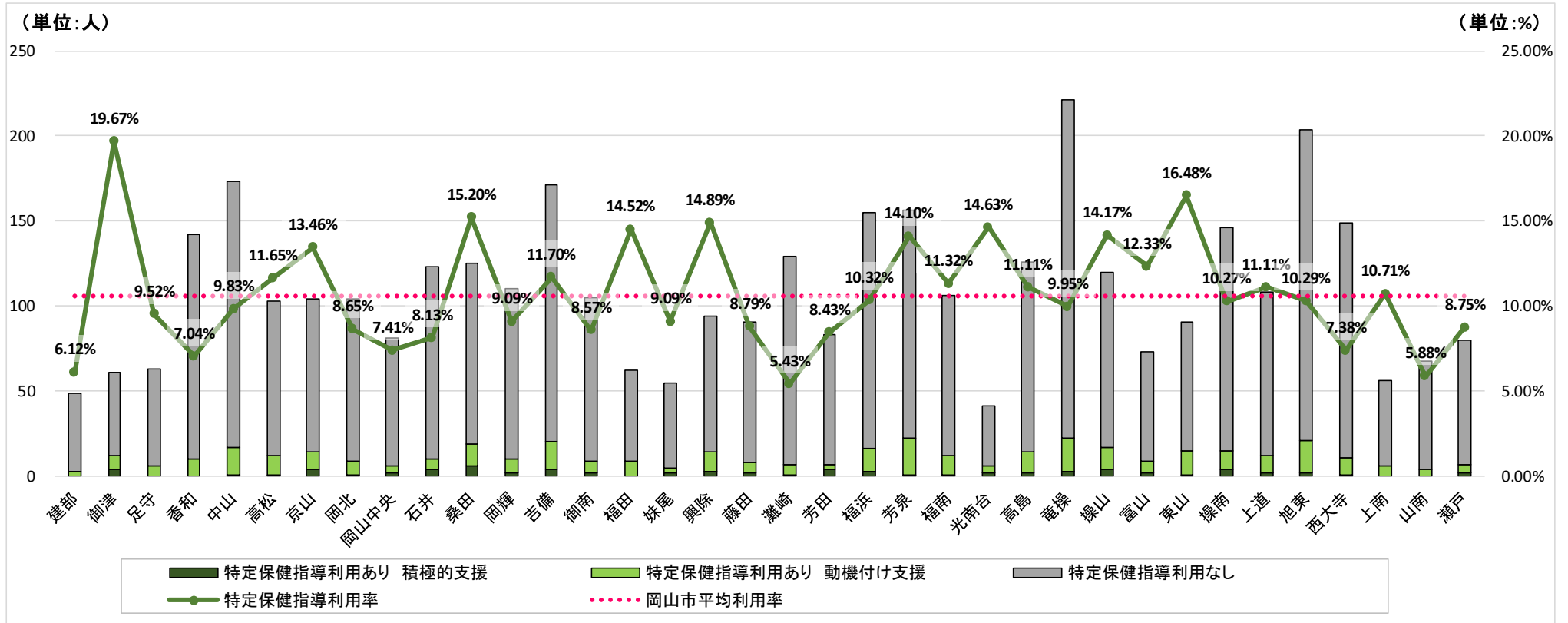
特定保健指導実施有無	保健指導レベル	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～75歳	総計
特定保健指導対象者数		222	197	226	249	511	1,143	1,380	3,928
特定保健指導利用あり	積極的支援	14	9	5	11	32	2	0	73
	動機付け支援	6	5	4	10	29	137	152	343
		20	14	9	21	61	139	152	416
特定保健指導利用率		9.01%	7.11%	3.98%	8.43%	11.94%	12.16%	11.01%	10.59%
特定保健指導利用なし	積極的支援	112	112	131	134	252	11	24	776
	動機付け支援	90	71	86	94	198	993	1,204	2,736
		202	183	217	228	450	1,004	1,228	3,512

※実績データを用いて集計しているため、法定報告値やKDBデータの数値とは異なります。

# ⑦\_2\_特定保健指導対象者フォロー対策事業

## ⑦\_2\_2\_特定保健指導利用状況×地区別（平成26年度）

平成26年度の特定保健指導利用状況を地区別に示しました。「建部」、「香和」、「岡山中央」、「瀬崎」、「西大寺」、「山南」といった地区で、特定保健指導の利用率が全体平均と比較して3%以上低くなっています。これらの地区を優先的に、特定保健指導の利用勧奨にむけた働きかけを行う必要があります。



	建部	御津	足守	香和	中山	高松	京山	岡北	岡山中央	石井	桑田	岡輝	吉備	御南	福田	妹尾	興除	藤田	瀬崎	芳田	福浜	芳泉	福南	光南台	高島	竜操	操山	富山	東山	操南	上道	旭東	西大寺	上南	山南	瀬戸
積極的支援 利用(人)	0	4	0	0	1	1	4	1	2	4	6	2	4	2	0	2	3	2	1	4	3	1	1	2	2	3	4	2	1	4	2	2	1	0	0	2
動機付け支援 利用(人)	3	8	6	10	16	11	10	8	4	6	13	8	16	7	9	3	11	6	6	3	13	21	11	4	12	19	13	7	14	11	10	19	10	6	4	5
利用なし(人)	46	49	57	132	156	91	90	95	75	113	106	100	151	96	53	50	80	83	122	76	139	134	94	35	112	199	103	64	76	131	96	183	138	50	64	73
利用率(%)	6.12	19.67	9.52	7.04	9.83	11.65	13.46	8.65	7.41	8.13	15.20	9.09	11.70	8.57	14.52	9.09	14.89	8.79	5.43	8.43	10.32	14.10	11.32	14.63	11.11	9.95	14.17	12.33	16.48	10.27	11.11	10.29	7.38	10.71	5.88	8.75

※実績データを用いて集計しているため、法定報告値やKDBデータの数値とは異なります。

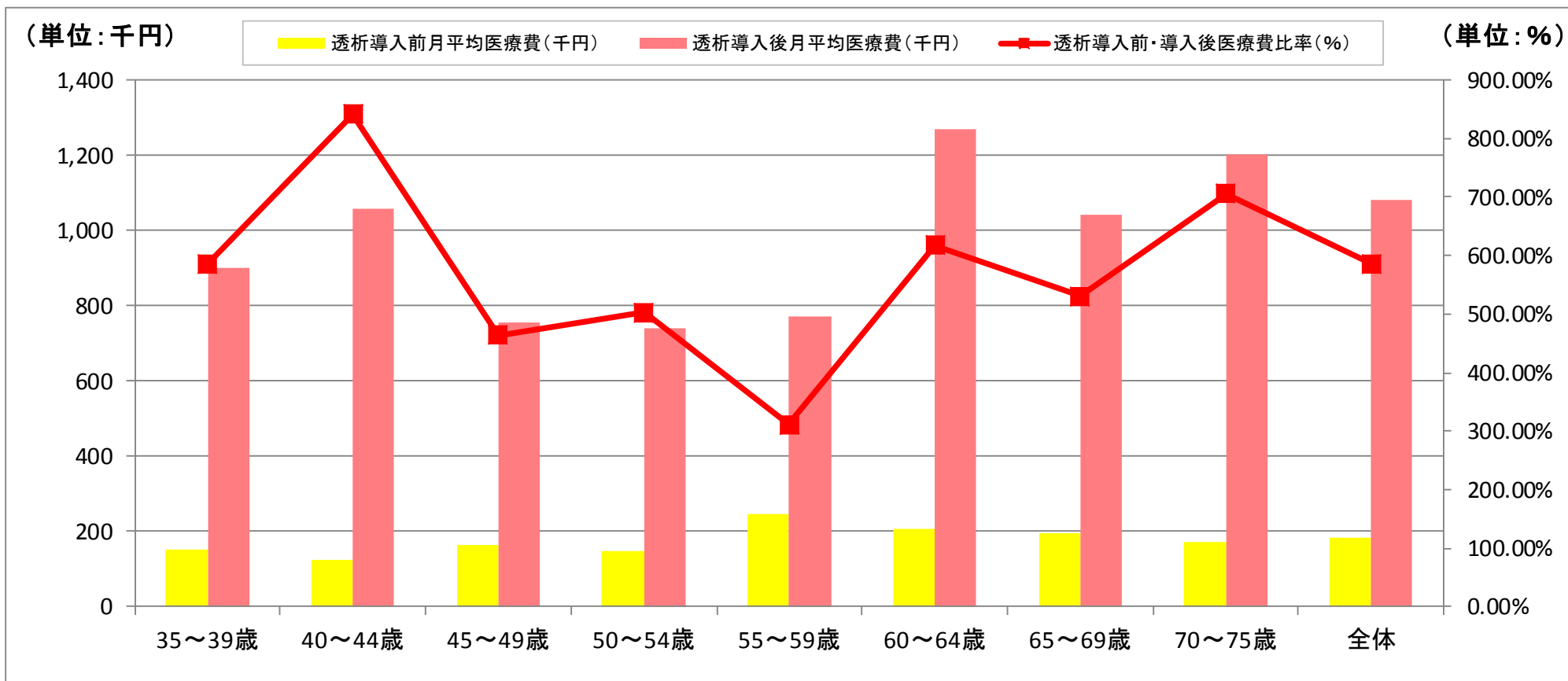
赤字・・・岡山市平均利用率と比較して3%以上低い



# ⑦\_3\_慢性腎臓疾患（CKD）対策事業

## ⑦\_3\_1\_人工透析導入前・導入後の医療費の比較×年齢階級別

平成26年度中に、人工透析を開始した被保険者は115人で、人工透析開始前の月平均医療費と、人工透析導入後の月平均医療費を比較すると、人工透析導入前と人工透析導入後の医療費比率は586.31%となりました。人工透析導入により増加する医療費は極めて大きく、医療費適正化を行う上では、腎疾患の重症化予防対策の重要度が高いことがわかります。



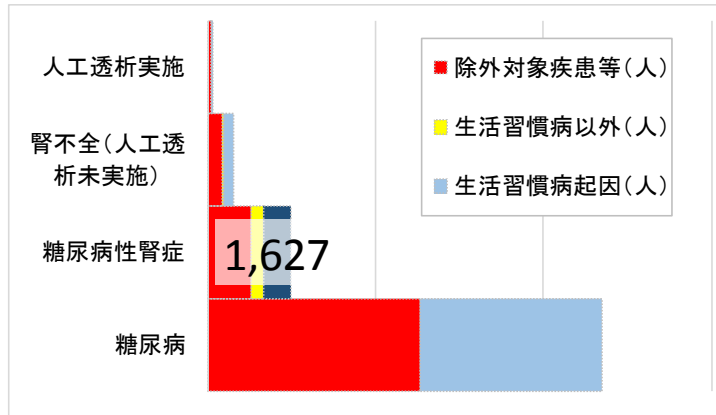
	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~75歳	全体
透析開始被保険者数(人)	3	3	5	5	9	11	32	47	115
透析導入前月平均医療費(千円)	154	126	163	147	248	206	196	171	184
透析導入後月平均医療費(千円)	901	1,058	754	740	771	1,270	1,040	1,204	1,079
透析導入前・導入後医療費比率(%)	585.43%	841.87%	463.46%	502.86%	310.96%	617.75%	530.55%	705.98%	586.31%

# ⑦\_3\_慢性腎臓疾患（CKD）対策事業

## ⑦\_3\_2\_人工透析予備群（糖尿病重症化予防対象者）の状況

人工透析導入の起因となる糖尿病から、糖尿病性腎症、腎不全発症、人工透析導入に至るまで、被保険者を階層化し、保健指導の対象者の特定と、医療費軽減目標の算出を行いました。最も保健指導の優先順位の高い「生活習慣病に起因した糖尿病性腎症」に罹患している被保険者から、精神疾患や悪性新生物、難病などに罹患している被保険者を除外した、**糖尿病重症化予防対象者数は1,627人**となりました。これらの指導対象者数に、目標指導実施率や目標透析移行防止率などを加味して算出した**糖尿病重症化予防による医療費適正化目標は、約2億4千8百万円**となりました。

### ⑦\_3\_2\_1\_人工透析実施及び人工透析実施予備群の階層化



進行ステージ	生活習慣病起因(人)	生活習慣病以外(人)	除外対象疾患等(人)	合計(人)
人工透析実施	97	0	235	332
腎不全(人工透析未実施)	512	100	894	1,506
糖尿病性腎症	1,627	693	2,635	4,955
糖尿病	10,764	0	12,700	23,464
合計	13,000	793	16,464	30,257

…糖尿病重症化予防対象者数

### ⑦\_3\_2\_2\_保健指導対象者及び医療費適正化目標

#### ①目標指導実施者数

$$\text{糖尿病重症化予防対象者数: } 1,627 \text{人} \times \text{目標指導実施率: } 30.0\% = \text{目標指導実施者数: } 488 \text{人}$$

#### ②目標透析移行防止者数

$$\text{目標指導実施者数: } 488 \text{人} \times \text{目標透析移行防止率: } 20.0\% = \text{目標透析移行防止者数: } 98 \text{人}$$

#### ③医療費軽減目標

$$\text{目標透析移行防止者数: } 98 \text{人} \times \text{糖尿病重症化予防対象者の平均年間医療費: } 520,380 \text{円} = \text{糖尿病重症化予防対象者推計年間医療費: } 50,997 \text{千円} \cdots \text{①}$$

$$\text{糖尿病重症化予防対象者推計年間医療費: } 50,997 \text{千円} \times \text{透析導入前・導入後医療費比率: } 586.31\% = \text{人工透析導入後推計年間医療費: } 299,002 \text{千円} \cdots \text{②}$$

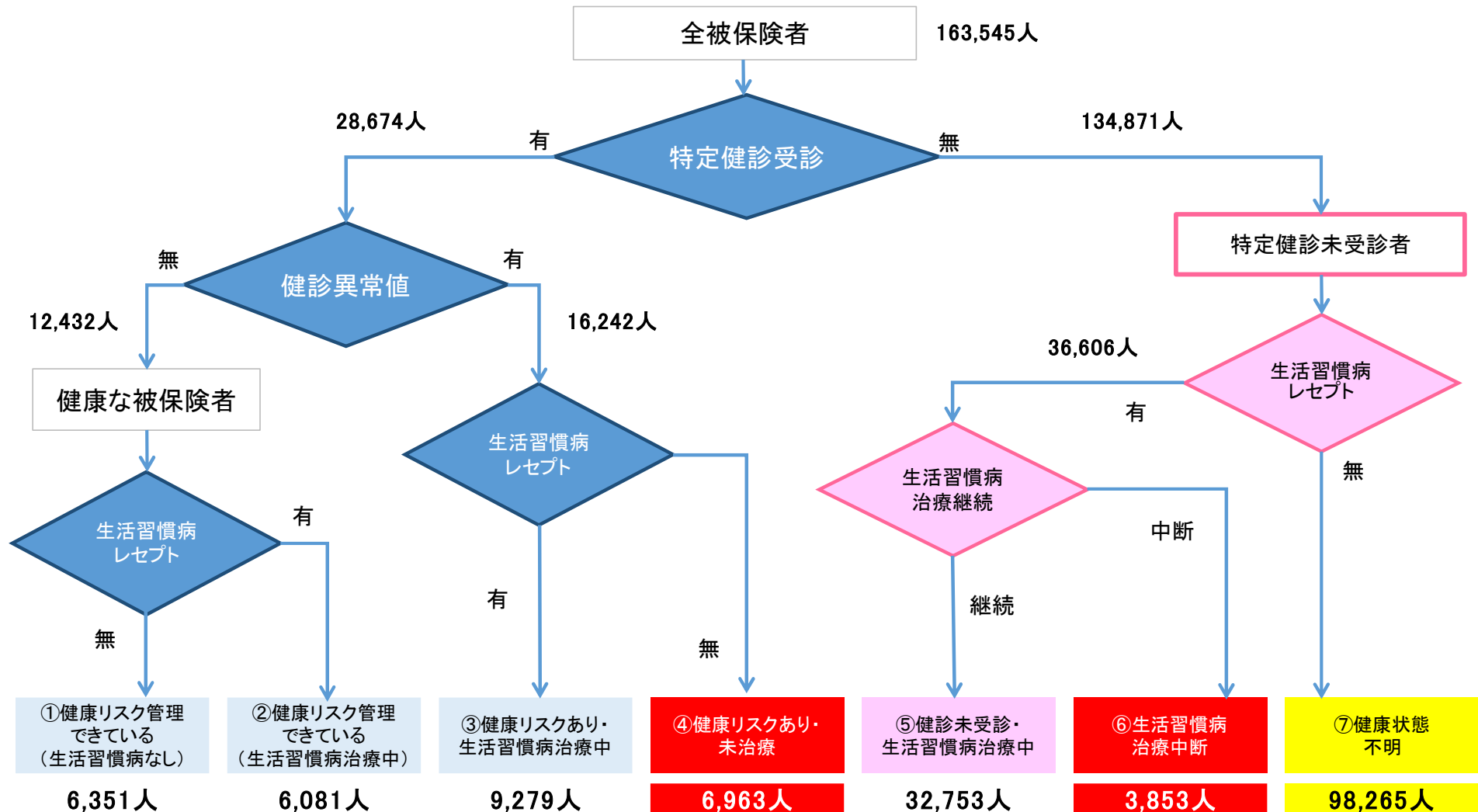
$$\text{医療費軽減目標: } 248,005 \text{千円} (\text{②} - \text{①})$$



## ⑦\_4\_生活習慣病重症化予防対策事業

### ⑦\_4\_1\_特定健診受診有無・結果及び生活習慣病レセプト有無による被保険者分類

特定健診の受診状況や結果、生活習慣病レセプトの有無により被保険者を分類した結果を示しました。特定健診結果で異常値があり、生活習慣病を治療中の「健康リスクあり・生活習慣病治療中」の被保険者は9,279人でした。特定健診結果でなんらかの異常値が発生しているにもかかわらず、生活習慣病レセプトが存在しない、「健康リスクあり・未治療」の被保険者は6,963人でした。特定健診を受診しておらず、生活習慣病レセプトは存在しているものの、期間中にレセプトが発生しなくなった、「生活習慣病治療中断」の被保険者は3,853人でした。これらの被保険者は、生活習慣病の重症化による医療費高額化のリスクが高く、保健指導の優先順位が高いと考えられます。



# ⑦\_4\_生活習慣病重症化予防対策事業

## ⑦\_4\_2\_特定健診受診有無・結果及び生活習慣レセプト有無による被保険者分類×地区別

特定健診の受診状況や結果、生活習慣病レセプトの有無により被保険者を分類した結果を地区別に示しました。地区ごとの被保険者数に対して、「健康リスクあり」の被保険者の構成比率が、「足守」、「香和」、「中山」、「高松」、「興除」、「藤田」、「灘崎」、「上南」、「山南」、「健康リスクあり・未治療」の被保険者数の構成比率が「香和」、「中山」、「興徐」、「灘崎」、「上道」といった地区で高くなっています。「生活習慣病治療中断」の被保険者は地区ごとの構成比率に大きな差異はありませんでした。「健康リスクあり・未治療」の被保険者の構成比率の高い地区を中心に、医療機関の受診勧奨などを行っていく必要があります。

地区	被保険者数	特定健診受診あり						特定健診受診なし					
		異常値なし		異常値あり				生活習慣病あり			健康状態不明		
		生活習慣病なし	生活習慣病治療中	健康リスクあり・生活習慣病治療中		健康リスクあり・未治療)		治療継続	生活習慣病治療中断		被保険者数	構成比率	
				被保険者数	構成比率	被保険者数	構成比率		被保険者数	構成比率			
建部	1,563	40	40	87	5.57%	68	4.35%	445	47	3.0%	836	53.49%	
御津	2,334	95	120	146	6.26%	108	4.63%	597	61	2.6%	1,207	51.71%	
足守	1,884	72	75	167	<b>8.86%</b>	87	4.62%	446	45	2.4%	992	52.65%	
香和	4,601	192	225	346	<b>7.52%</b>	244	<b>5.30%</b>	857	100	2.2%	2,637	57.31%	
中山	5,414	269	282	405	<b>7.48%</b>	289	<b>5.34%</b>	992	127	2.3%	3,050	56.34%	
高松	4,016	133	208	291	<b>7.25%</b>	187	4.66%	965	133	3.3%	2,099	52.27%	
京山	5,064	166	188	244	4.82%	185	3.65%	739	116	2.3%	3,426	<b>67.65%</b>	
岡北	5,104	154	178	265	5.19%	208	4.08%	1,027	95	1.9%	3,177	<b>62.25%</b>	
岡山中央	5,051	179	157	234	4.63%	165	3.27%	832	132	2.6%	3,352	<b>66.36%</b>	
石井	5,671	192	205	345	6.08%	224	3.95%	943	112	2.0%	3,650	<b>64.36%</b>	
桑田	7,876	299	207	308	3.91%	291	3.69%	1,422	209	2.7%	5,140	<b>65.26%</b>	
岡輝	6,325	171	153	244	3.86%	151	2.39%	1,056	154	2.4%	4,396	<b>69.50%</b>	
吉備	6,672	251	240	382	5.73%	295	4.42%	1,327	160	2.4%	4,017	<b>60.21%</b>	
御南	5,502	200	162	260	4.73%	163	2.96%	847	140	2.5%	3,730	<b>67.79%</b>	
福田	2,701	88	90	126	4.66%	125	4.63%	657	63	2.3%	1,552	57.46%	
妹尾	3,412	99	128	130	3.81%	157	4.60%	784	69	2.0%	2,045	59.94%	
興除	3,263	151	158	242	<b>7.42%</b>	173	<b>5.30%</b>	720	79	2.4%	1,740	53.33%	
藤田	3,431	162	165	230	<b>6.70%</b>	150	4.37%	684	73	2.1%	1,967	57.33%	

地区	被保険者数	特定健診受診あり						特定健診受診なし					
		異常値なし		異常値あり				生活習慣病あり			健康状態不明		
		生活習慣病なし	生活習慣病治療中	健康リスクあり・生活習慣病治療中		健康リスクあり・未治療)		治療継続	生活習慣病治療中断		被保険者数	構成比率	
				被保険者数	構成比率	被保険者数	構成比率		被保険者数	構成比率			
灘崎	4,081	164	200	299	<b>7.33%</b>	306	<b>7.50%</b>	795	95	2.3%	2,222	54.45%	
芳田	5,000	161	170	240	4.80%	140	2.80%	933	125	2.5%	3,231	<b>64.62%</b>	
福浜	6,451	222	211	353	5.47%	247	3.83%	1,104	125	1.9%	4,189	<b>64.94%</b>	
芳泉	6,334	240	237	315	4.97%	290	4.58%	1,090	125	2.0%	4,037	<b>63.74%</b>	
福南	4,190	178	181	253	6.04%	194	4.63%	925	94	2.2%	2,365	56.44%	
光南台	1,634	64	58	102	6.24%	69	4.22%	425	35	2.1%	881	53.92%	
高島	4,303	164	229	285	6.62%	166	3.86%	961	104	2.4%	2,394	55.64%	
竜操	8,263	306	329	476	5.76%	382	4.62%	1,690	182	2.2%	4,898	59.28%	
操山	6,584	264	235	268	4.07%	253	3.84%	1,172	164	2.5%	4,228	<b>64.22%</b>	
富山	3,485	132	149	219	6.28%	145	4.16%	739	92	2.6%	2,009	57.65%	
東山	4,457	150	178	218	4.89%	167	3.75%	906	88	2.0%	2,750	<b>61.70%</b>	
操南	5,828	231	288	382	6.55%	262	4.50%	1,128	121	2.1%	3,416	58.61%	
上道	3,842	155	129	230	5.99%	211	<b>5.49%</b>	888	98	2.6%	2,131	55.47%	
旭東	6,638	251	255	400	6.03%	301	4.53%	1,574	181	2.7%	3,676	55.38%	
西大寺	5,194	226	233	316	6.08%	228	4.39%	1,129	124	2.4%	2,938	56.57%	
上南	1,673	71	78	127	<b>7.59%</b>	74	4.42%	436	32	1.9%	855	51.11%	
山南	2,452	75	94	175	<b>7.14%</b>	96	3.92%	716	65	2.7%	1,231	50.20%	
瀬戸	3,252	114	116	169	5.20%	162	4.98%	802	88	2.7%	1,801	55.38%	
全体	163,545	6,081	6,351	9,279	5.67%	6,963	4.26%	32,753	3,853	2.4%	98,265	60.08%	

赤字・・・全体平均より1%以上高い

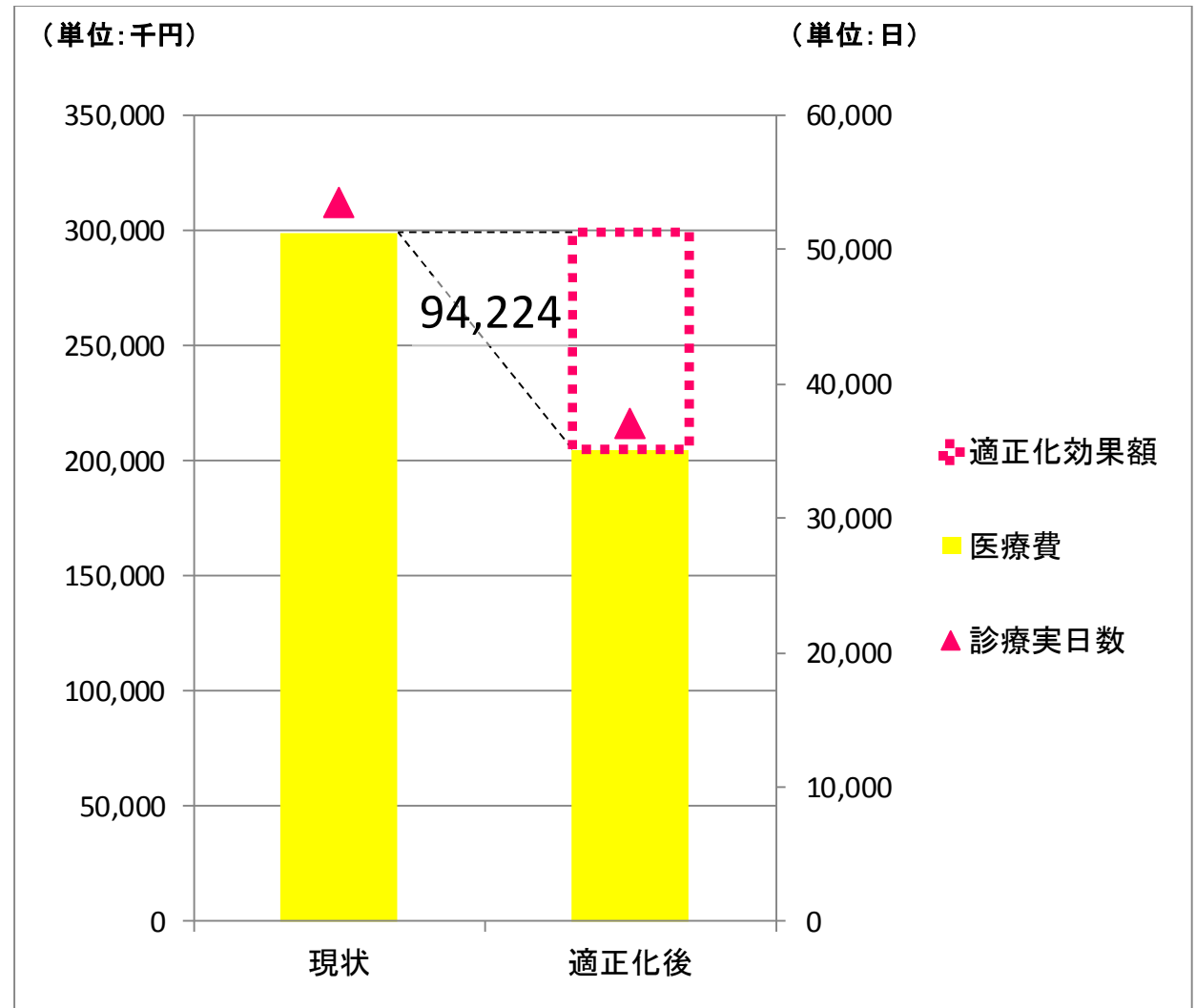


# ⑦\_5\_適正受診啓発事業

## ⑦\_5\_1\_1\_頻回受診件数・医療費

頻回受診（3ヶ月以上連続で、同月に15日以上医療機関に受診している）件数は2,652件、診療実日数は53,517日、医療費は約2億9千万円となっています。この状況から月14日以下の適正な受診をした場合の診療実日数は37,128日で、医療費は約2億円となり、約9千万円の医療費を軽減することができます。

頻回受診状況		
現状	頻回受診被保険者数(人)	364
	件数(件)	2,652
	診療実日数(日)	53,517
	医療費(千円)	298,923
	軽減目標診療実日数(日)	16,389
	軽減目標医療費(千円)	94,224
適正化後	適正化後診療実日数(日)	37,128
	適正化後医療費(千円)	204,699





# ⑦\_5\_適正受診啓発事業

## ⑦\_5\_1\_2\_頻回受診件数・医療費×地区別

頻回受診の発生状況を地区別に示しました。頻回受診の発生件数、軽減目標となる医療費が最も大きいのは「芳泉」、頻回受診率が最も高いのは「建部」、頻回受診医療費が最も大きいのは「操山」地区となりました。これらの地区が、医療機関受診の適正化に向けた働きかけを行っていく優先度が最も高いと考えられます。

地区	被保険者数(人)	現状						適正化後	
		件数(件)	頻回受診率(件)	診療実日数(日)	医療費(千円)	軽減目標診療実日数(日)	軽減目標医療費(千円)	適正化後 診療実日数(日)	適正化後 医療費(千円)
建部	1,563	69	4.41	1,309	5,784	343	1,501	966	4,282
御津	2,334	15	0.64	306	702	96	220	210	482
足守	1,884	40	2.12	789	2,360	229	669	560	1,691
香和	4,601	70	1.52	1,364	7,382	384	1,923	980	5,458
中山	5,414	104	1.92	2,174	11,273	718	3,980	1,456	7,293
高松	4,016	47	1.17	932	5,806	274	1,631	658	4,175
京山	5,064	101	1.99	1,912	11,256	498	2,799	1,414	8,456
岡北	5,104	74	1.45	1,567	10,318	531	3,926	1,036	6,392
岡山中央	5,051	34	0.67	634	3,068	158	818	476	2,251
石井	5,671	113	1.99	2,248	11,161	666	3,149	1,582	8,012
桑田	7,876	105	1.33	2,085	11,155	615	3,149	1,470	8,007
岡輝	6,325	88	1.39	1,826	14,117	594	4,665	1,232	9,452
吉備	6,672	76	1.14	1,461	4,310	397	1,323	1,064	2,986
御南	5,502	71	1.29	1,423	2,260	429	711	994	1,549
福田	2,701	32	1.18	561	1,762	113	320	448	1,442
妹尾	3,412	92	2.70	1,747	7,773	459	2,054	1,288	5,719
興除	3,263	82	2.51	1,617	7,127	469	2,103	1,148	5,024
藤田	3,431	60	1.75	1,191	8,472	351	2,764	840	5,708
灘崎	4,081	66	1.62	1,413	5,913	489	1,479	924	4,433
芳田	5,000	86	1.72	1,642	8,688	438	2,177	1,204	6,511
福浜	6,451	109	1.69	2,396	14,861	870	5,757	1,526	9,104
芳泉	6,334	191	3.02	4,052	28,631	1,378	10,646	2,674	17,985
福南	4,190	58	1.38	1,118	8,503	306	2,147	812	6,356
光南台	1,634	23	1.41	562	5,854	240	2,515	322	3,339
高島	4,303	27	0.63	541	2,714	163	784	378	1,931
竜操	8,263	92	1.11	1,948	16,350	660	6,444	1,288	9,906
操山	6,584	167	2.54	3,426	28,832	1,088	9,897	2,338	18,935
富山	3,485	67	1.92	1,388	4,387	450	1,382	938	3,005
東山	4,457	57	1.28	1,097	7,185	299	1,785	798	5,401
操南	5,828	51	0.88	1,016	3,524	302	1,068	714	2,456
上道	3,842	72	1.87	1,380	2,487	372	625	1,008	1,861
旭東	6,638	150	2.26	3,096	12,909	996	3,543	2,100	9,366
西大寺	5,194	75	1.44	1,534	11,551	484	3,182	1,050	8,368
上南	1,673	12	0.72	274	3,530	106	1,360	168	2,170
山南	2,452	15	0.61	283	1,315	73	345	210	970
瀬戸	3,252	18	0.55	352	3,328	100	748	252	2,580
総計	163,545	2,609	1.60	52,664	296,644	16,138	93,588	36,526	203,056

※地区が特定できない被保険者を除く

赤字・・・項目毎で最も高い

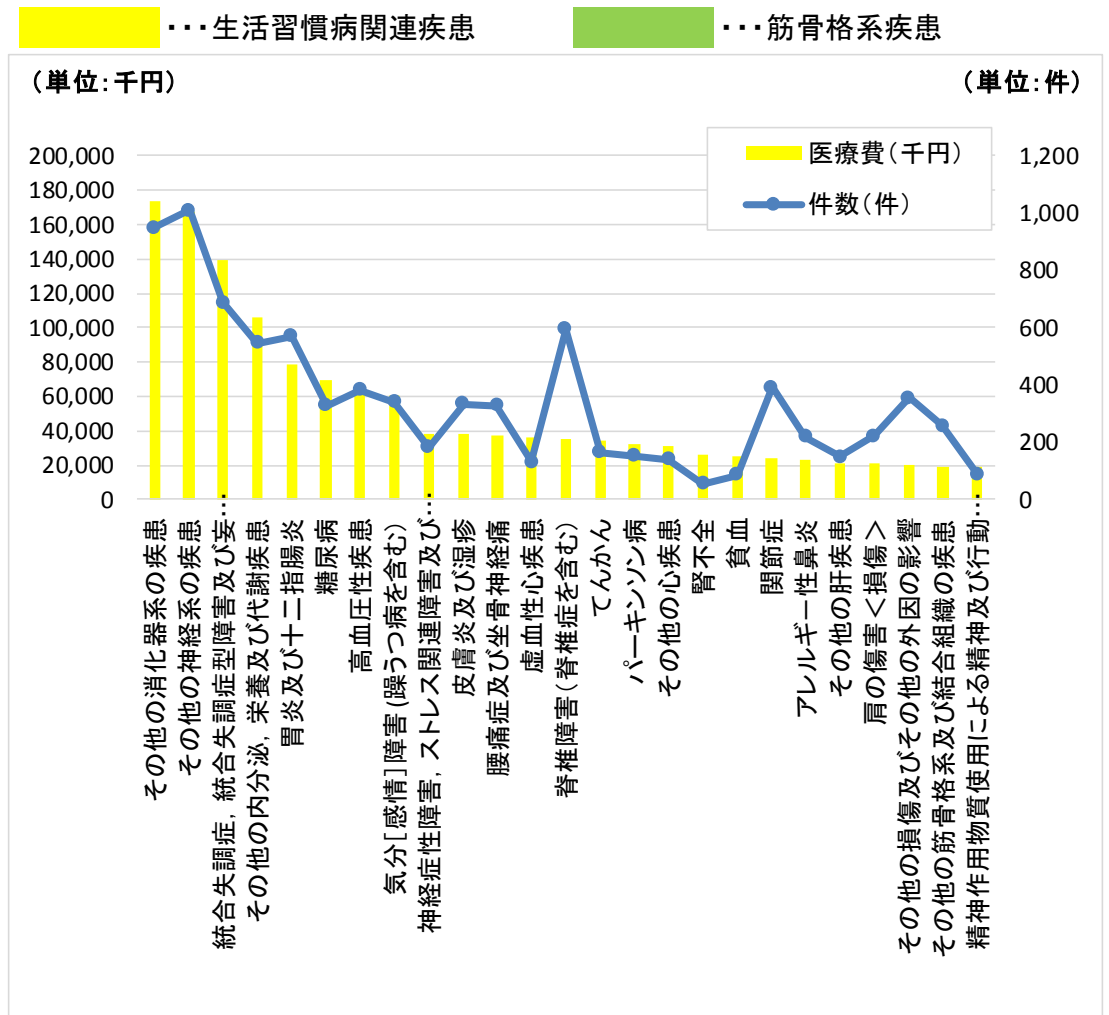


# ⑦\_5\_適正受診啓発事業

## ⑦\_5\_1\_3\_頻回受診疾病傾向

頻回受診の発生傾向を把握するため、疾病中分類別の医療費上位25疾患を示しました。上位3疾患は「その他の消化器系の疾患」、「その他の神経系の疾患」、「統合失調症」となっています。「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」、「糖尿病」、「高血圧性疾患」、「腎不全」などの生活習慣病疾患や、「腰痛症及び坐骨神経症」、「肩の損傷」、「その他の筋骨格系および結合組織の疾患」などの筋骨格系疾患が上位にあがっています。医療の必要性を検討した上で、適正受診に向けた働きかけを行う必要があります。

疾病中分類	件数(件)	医療費(千円)
その他の消化器系の疾患	948	173,816
その他の神経系の疾患	1,010	167,416
統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	688	139,444
<b>その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患</b>	<b>547</b>	<b>105,504</b>
胃炎及び十二指腸炎	571	79,125
<b>糖尿病</b>	<b>328</b>	<b>69,787</b>
<b>高血圧性疾患</b>	<b>382</b>	<b>64,340</b>
気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	341	60,795
神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	183	38,317
皮膚炎及び湿疹	333	38,196
<b>腰痛症及び坐骨神経痛</b>	<b>327</b>	<b>37,207</b>
虚血性心疾患	130	36,648
脊椎障害(脊椎症を含む)	594	35,264
てんかん	166	33,879
パーキンソン病	153	32,380
その他の心疾患	139	31,184
<b>腎不全</b>	<b>55</b>	<b>25,946</b>
貧血	86	24,994
関節症	392	23,922
アレルギー性鼻炎	220	23,042
その他の肝疾患	149	21,537
<b>肩の傷害&lt;損傷&gt;</b>	<b>222</b>	<b>20,867</b>
その他の損傷及びその他の外因の影響	355	20,495
<b>その他の筋骨格系及び結合組織の疾患</b>	<b>258</b>	<b>19,192</b>
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	90	19,099



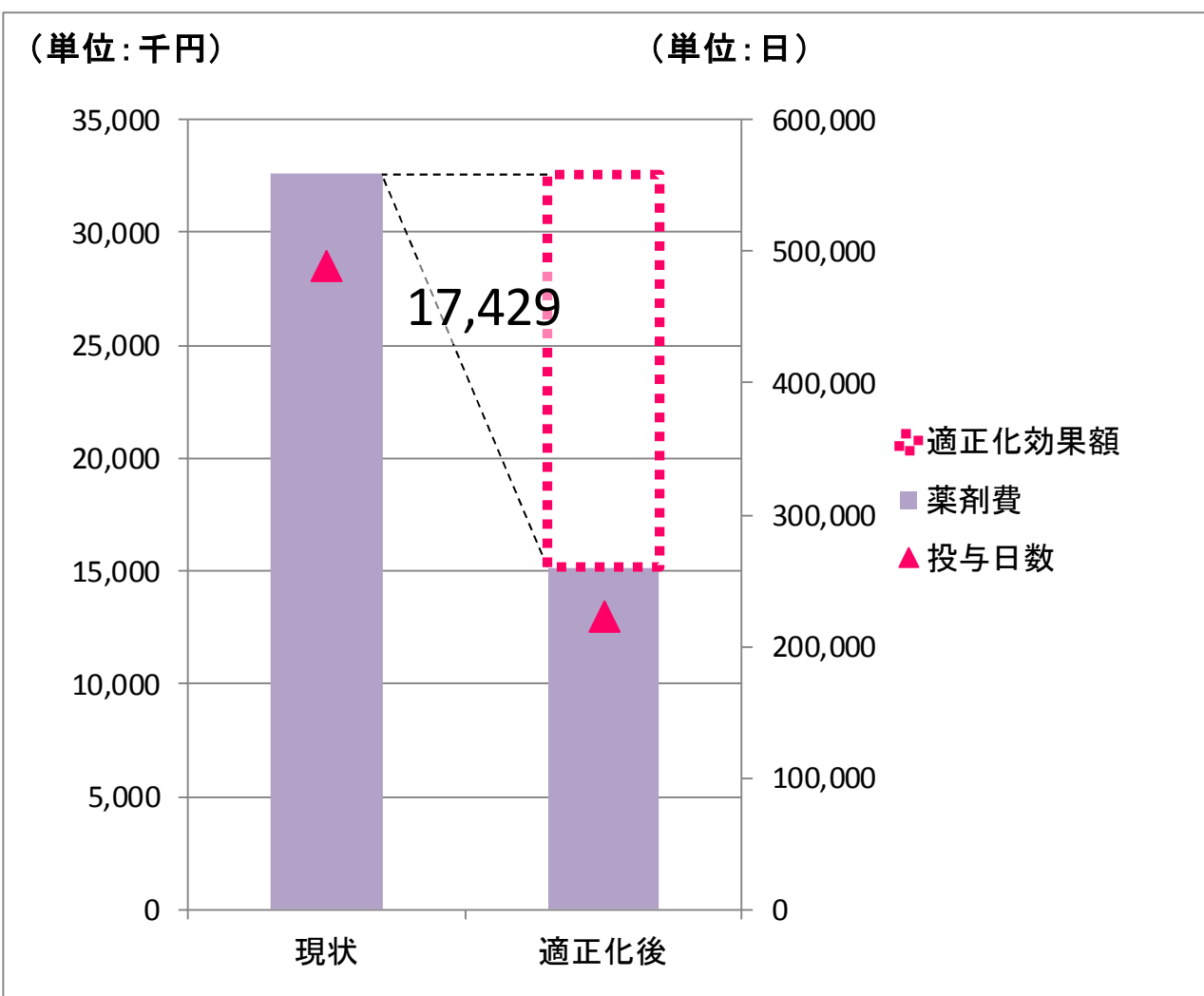


## ⑦\_5\_適正受診啓発事業

### ⑦\_5\_2\_1\_重複投薬件数・薬剤費

重複投薬（同月に同一薬効の医薬品を複数の調剤薬局から処方されており、投薬期間が重複している）を含む投薬に関する年間薬剤費は約3千2百万円で、重複投薬件数は24,434件となっています。**重複投薬を適正化することにより、年間薬剤費は約1千5百万円となり、約1千7百万円の年間薬剤費を軽減**することができます。

重複投薬状況		
現状	重複投薬件数(件)	24,434
	投与日数(日)	488,256
	薬剤費(千円)	32,577
	重複日数(日)	265,836
	軽減目標薬剤費(千円)	17,429
適正化後	適正化後投与日数(日)	222,420
	適正化後薬剤費(千円)	15,148







# ⑦\_5\_適正受診啓発事業

## ⑦\_5\_2\_2\_重複投薬件数・薬剤費×地区別

重複投薬の発生状況を地区別に示しました。「竜操」、「中山」、「灘崎」、「芳田」の順に、重複投薬の発生件数が多くなっています。投与日数がもっとも長いのは「竜操」、重複投薬率が最も高いのは「灘崎」、重複投薬に関する薬剤費及び、軽減目標となる薬剤費が最も大きいのは「芳泉」地区となりました。これらの地区が、投薬内容の適正化に向けた働きかけを行っていく優先度が最も高いと考えられます。

地区	被保険者数	現状						適正化後	
		重複投薬件数(件)	重複投薬率(件)	投与日数(日)	薬剤費(千円)	重複日数(日)	軽減目標薬剤費(千円)	適正化後投与日数(日)	適正化後薬剤費(千円)
建部	1,563	176	11.26	3,101	271	1,523	110	1,578	161
御津	2,334	678	29.05	14,151	940	6,950	530	7,201	410
足守	1,884	135	7.17	2,374	152	1,031	67	1,343	85
香和	4,601	655	14.24	11,859	953	6,194	494	5,665	459
中山	5,414	1,374	25.38	30,029	1,842	17,949	1,065	12,080	777
高松	4,016	457	11.38	8,476	375	5,121	212	3,355	163
京山	5,064	370	7.31	7,257	399	4,341	235	2,916	163
岡北	5,104	316	6.19	5,786	370	2,611	197	3,175	173
岡山中央	5,051	471	9.32	11,518	714	5,656	399	5,862	314
石井	5,671	488	8.61	8,331	438	4,205	207	4,126	232
桑田	7,876	1,242	15.77	25,051	2,073	12,291	962	12,760	1,111
岡輝	6,325	752	11.89	14,965	1,130	8,252	642	6,713	487
吉備	6,672	464	6.95	6,958	489	3,405	215	3,553	274
御南	5,502	673	12.23	14,486	749	8,508	425	5,978	324
福田	2,701	439	16.25	7,855	494	4,174	248	3,681	246
妹尾	3,412	264	7.74	4,928	387	2,685	215	2,243	172
興除	3,263	417	12.78	8,798	706	4,767	336	4,031	370
藤田	3,431	369	10.75	6,609	580	3,428	304	3,181	276
灘崎	4,081	1,321	32.37	28,830	1,394	17,939	888	10,891	507
芳田	5,000	1,281	25.62	28,537	1,428	16,146	787	12,391	640
福浜	6,451	1,138	17.64	22,406	1,344	12,330	775	10,076	570
芳泉	6,334	1,148	18.12	21,871	3,903	12,331	2,067	9,540	1,835
福南	4,190	518	12.36	9,386	495	4,732	229	4,654	265
光南台	1,634	134	8.20	2,678	181	1,341	91	1,337	90
高島	4,303	907	21.08	14,976	651	8,276	384	6,700	268
竜操	8,263	1,392	16.85	30,905	1,662	16,647	938	14,258	724
操山	6,584	866	13.15	18,140	925	10,507	489	7,633	436
富山	3,485	633	18.16	16,853	678	7,999	290	8,854	388
東山	4,457	447	10.03	8,209	570	4,035	255	4,174	315
操南	5,828	682	11.70	12,931	713	7,424	378	5,507	335
上道	3,842	660	17.18	13,981	884	7,508	454	6,473	430
旭東	6,638	908	13.68	16,610	1,164	8,772	654	7,838	511
西大寺	5,194	694	13.36	13,830	917	7,282	557	6,548	360
上南	1,673	311	18.59	6,842	481	3,691	273	3,151	208
山南	2,452	308	12.56	6,037	318	3,274	166	2,763	151
瀬戸	3,252	634	19.50	9,937	825	5,353	465	4,584	360
総計	163,545	23,722	14.50	475,491	31,596	258,678	17,002	216,813	14,594

※地区が特定できない被保険者を除く

赤字・・・項目毎で最も高い

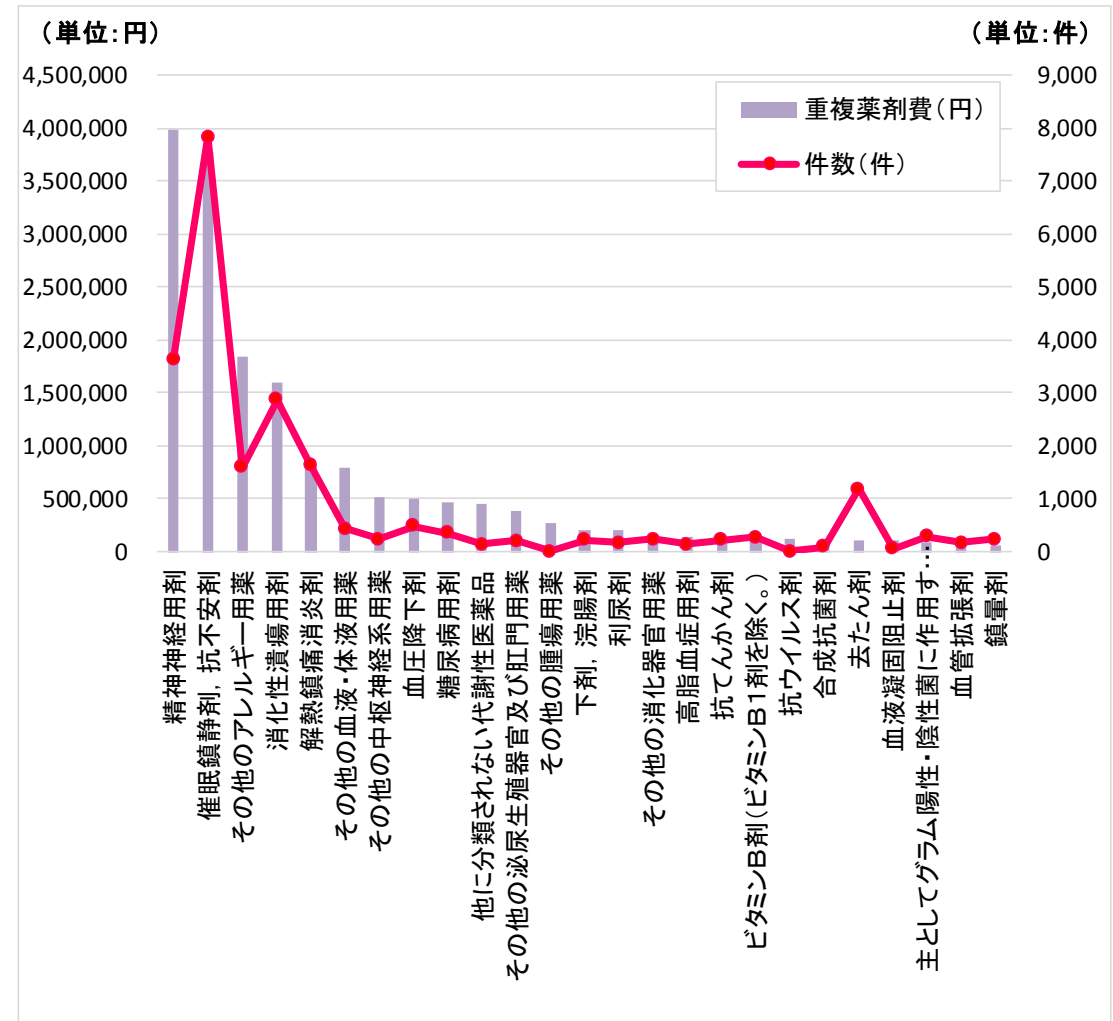


# ⑦\_5\_適正受診啓発事業

## ⑦\_5\_2\_3\_重複投薬薬効分類傾向

重複投薬の発生傾向を把握するため、薬効分類別の重複薬剤費上位25薬効を示しました。上位3薬効は「精神神経用剤」、「催眠鎮静剤、抗不安剤」、「その他のアレルギー用薬」となっています。精神疾患関連医薬品の重複投薬が突出して重複薬剤費が高く、投薬適正化に向けては最も優先順位の高い対象であると考えられます。

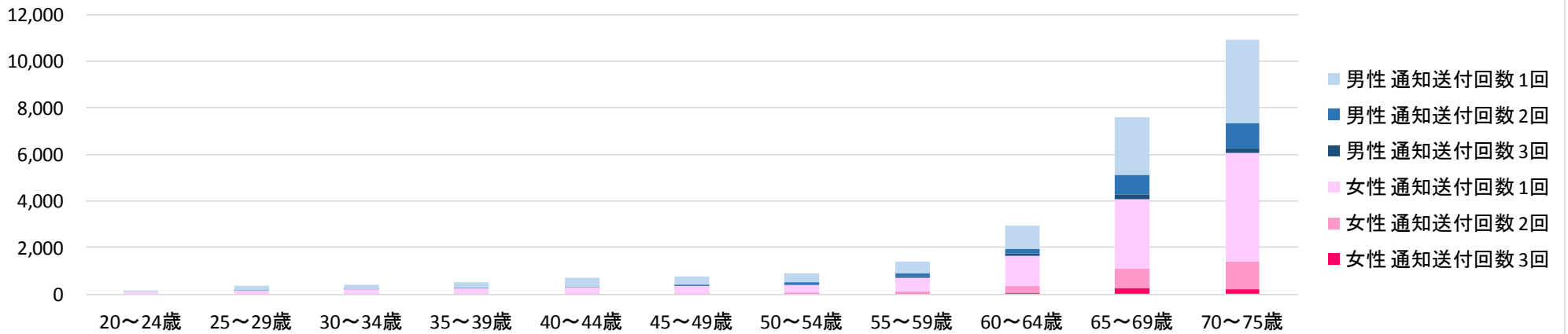
薬効分類	件数(件)	重複薬剤費(円)
精神神経用剤	3,622	3,981,330
催眠鎮静剤, 抗不安剤	7,835	3,776,450
その他のアレルギー用薬	1,600	1,838,500
消化性潰瘍用剤	2,876	1,590,060
解熱鎮痛消炎剤	1,638	832,630
その他の血液・体液用薬	427	788,440
その他の中枢神経系用薬	242	509,220
血圧降下剤	484	492,450
糖尿病用剤	349	466,200
他に分類されない代謝性医薬品	147	446,570
その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	207	378,730
その他の腫瘍用薬	8	264,810
下剤, 浣腸剤	225	206,990
利尿剤	179	205,590
その他の消化器官用薬	237	154,620
高脂血症用剤	142	136,810
抗てんかん剤	226	135,080
ビタミンB剤(ビタミンB1剤を除く。)	265	121,200
抗ウイルス剤	12	115,770
合成抗菌剤	98	104,520
去たん剤	1,191	103,470
血液凝固阻止剤	50	102,960
主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	282	96,330
血管拡張剤	170	79,440
鎮暈剤	243	65,600



# ⑦\_6\_後発医薬品普及促進事業

## ⑦\_6\_1\_後発医薬品差額通知送付状況×性別×年齢階級別（平成24年度～平成26年度）

先発医薬品からジェネリック医薬品に切り替えた場合に、軽減可能な自己負担額をお知らせする、『ジェネリック医薬品差額通知書』について、平成24年度から平成26年度にかけての被保険者ごとの延べ送付回数を階層化し、被保険者数を性別、年齢階級別に示しました。**被保険者数の構成比率は、男女差はほぼなく、70～75歳の年齢階級が最も高い値**を示しています。**期間中に通知を複数回送付している被保険者は全体の23%弱**となっています。継続して医療機関を受診している被保険者が、ジェネリック医薬品に切り替えることで通知対象外となり、複数回通知を送付する必要がなくなるため、通知送付によるジェネリック医薬品への切り替え促進について、効果があがっていると考えられます。



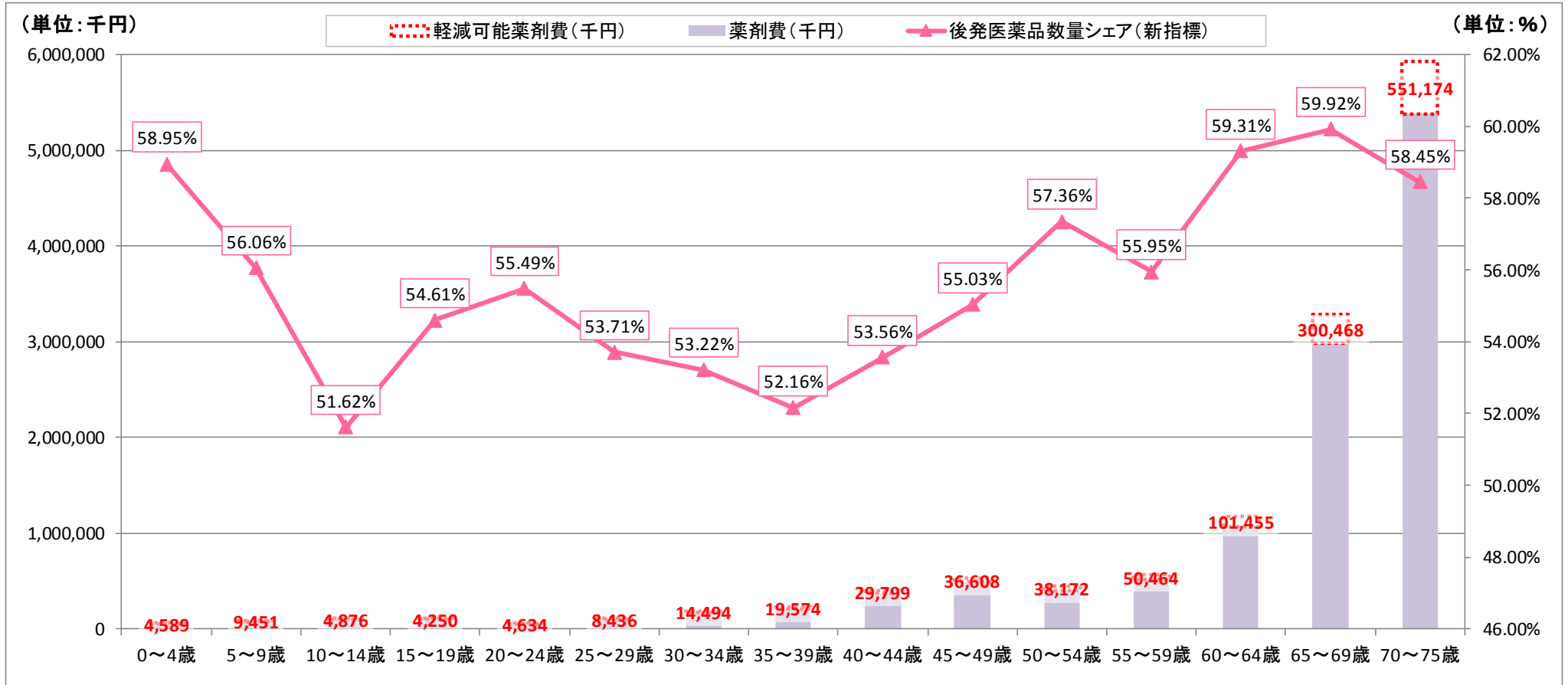
		性別	平成24年度～平成26年度 延べ通知送付回数	項目	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～75歳	総計
全体	男性	通知送付回数 1回	被保険者数	65	155	203	254	360	346	412	509	972	2,491	3,567	9,334	
			構成比率	0.24%	0.58%	0.76%	0.95%	1.35%	1.30%	1.54%	1.91%	3.64%	9.33%	13.36%	34.95%	
		通知送付回数 2回	被保険者数	0	3	4	18	28	48	84	131	241	845	1,109	2,511	
			構成比率	0.00%	0.01%	0.01%	0.07%	0.10%	0.18%	0.31%	0.49%	0.90%	3.16%	4.15%	9.40%	
		通知送付回数 3回	被保険者数	0	1	2	2	8	17	26	45	101	194	218	614	
			構成比率	0.00%	0.00%	0.01%	0.01%	0.03%	0.06%	0.10%	0.17%	0.38%	0.73%	0.82%	2.30%	
	女性	通知送付回数 1回	被保険者数	92	181	220	251	283	313	355	581	1,276	2,973	4,639	11,164	
			構成比率	0.34%	0.68%	0.82%	0.94%	1.06%	1.17%	1.33%	2.18%	4.78%	11.13%	17.37%	41.81%	
		通知送付回数 2回	被保険者数	0	3	5	5	13	33	39	106	269	853	1,179	2,505	
			構成比率	0.00%	0.01%	0.02%	0.02%	0.05%	0.12%	0.15%	0.40%	1.01%	3.19%	4.42%	9.38%	
		通知送付回数 3回	被保険者数	0	0	0	0	3	3	10	19	81	239	220	575	
			構成比率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.01%	0.01%	0.04%	0.07%	0.30%	0.90%	0.82%	2.15%	
			被保険者数	92	184	225	256	299	349	404	706	1,626	4,065	6,038	14,244	
			構成比率	0.34%	0.69%	0.84%	0.96%	1.12%	1.31%	1.51%	2.64%	6.09%	15.22%	22.61%	53.34%	
	被保険者数	157	343	434	530	695	760	926	1,391	2,940	7,595	10,932	26,703			
	構成比率	0.59%	1.28%	1.63%	1.98%	2.60%	2.85%	3.47%	5.21%	11.01%	28.44%	40.94%	100.00%			

# ⑦\_6\_後発医薬品普及促進事業

## ⑦\_6\_2\_後発医薬品数量シェア及び軽減可能薬剤費×年齢階級別（平成26年度）

平成26年度の後発医薬品数量シェア（新指標）及び全ての代替可能先発品を後発医薬品に変更した場合に軽減可能薬剤費を年齢階級別に示しました。  
 数量シェアで見ると「10～19歳」、「25～49歳」の年齢階級が全体平均と比較して低くなっており、軽減可能薬剤費に関しては、年齢階級が高くなるにつれ上昇し、「70～75歳」の年齢階級が最も高額となっています。

後発医薬品の普及促進のためには、比較的若年から中年世代の後発医薬品数量シェアの向上が必要となります。



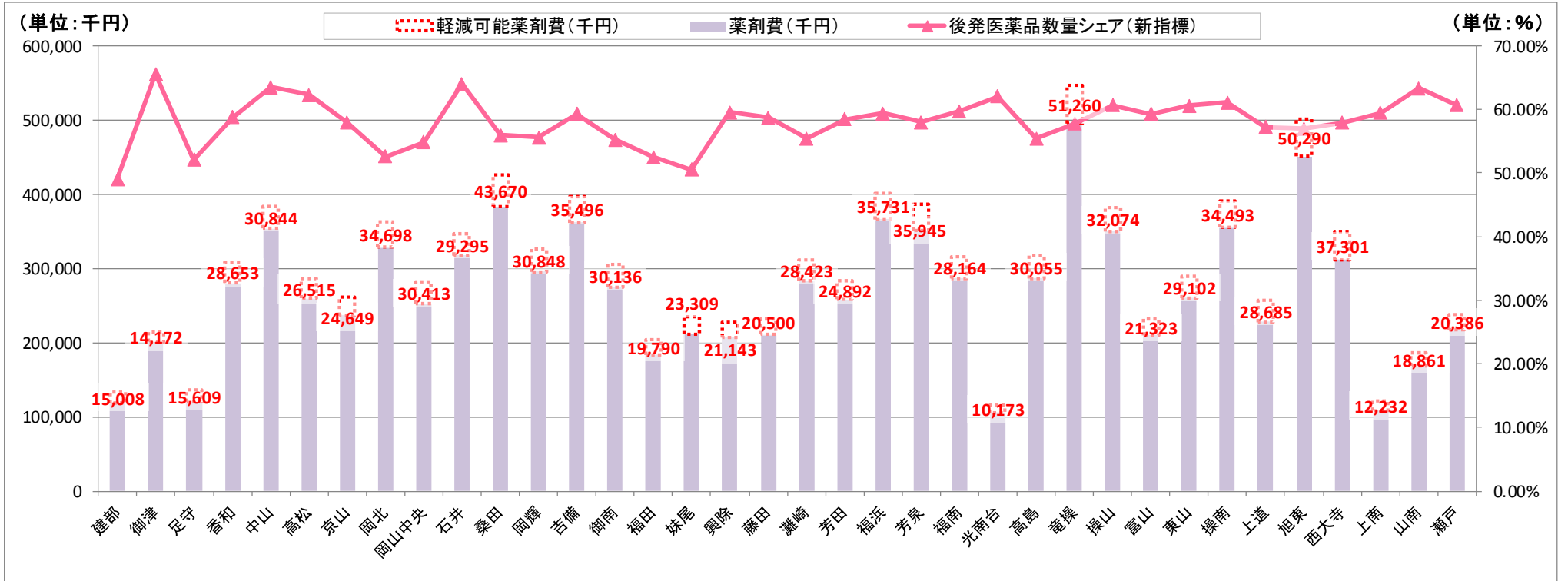
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～75歳	全体
薬剤費(千円)	51,194	79,624	94,847	94,935	46,955	97,746	173,946	206,777	370,029	489,862	405,424	515,121	1,073,085	2,980,966	5,380,123	12,060,634
軽減可能薬剤費(千円)	4,589	9,451	4,876	4,250	4,634	8,436	14,494	19,574	29,799	36,608	38,172	50,464	101,455	300,468	551,174	1,178,442
後発医薬品数量シェア(新指標)	58.95%	56.06%	51.62%	54.61%	55.49%	53.71%	53.22%	52.16%	53.56%	55.03%	57.36%	55.95%	59.31%	59.92%	58.45%	58.15%

赤字・・・全体より3%以上低い

# ⑦\_6\_後発医薬品普及促進事業

## ⑦\_6\_3\_後発医薬品数量シェア及び軽減可能薬剤費×地区別（平成26年度）

平成26年度の後発医薬品数量シェア（新指標）及び全ての代替可能先発品を後発医薬品に変更した場合に軽減可能薬剤費を地区別に示しました。数量シェアで見ると「建部」、「足守」、「岡北」、「岡山中央」、「御南」、「福田」、「妹尾」といった地域が全体平均と比較して低くなっており、軽減可能薬剤費に関しては、「竜操」、「旭東」、「桑田」といった地域が年額4千万円以上と高額になっています。後発医薬品普及促進による薬剤費の軽減に向けては、これらの地域に対する働きかけの優先順位が高いと考えられます。



薬剤費(千円)	建部	御津	足守	香和	中山	高松	京山	岡北	岡山中央	石井	桑田	岡輝	吉備	御南	福田	妹尾	興除	藤田	灘崎
軽減可能薬剤費(千円)	15,008	14,172	15,609	28,653	30,844	26,515	24,649	34,698	30,413	29,295	43,670	30,848	35,496	30,136	19,790	23,309	21,143	20,500	28,423
後発医薬品数量シェア(新指標)	49.07%	65.57%	52.12%	58.81%	63.54%	62.32%	57.93%	52.61%	54.88%	64.02%	55.99%	55.65%	59.34%	55.25%	52.56%	50.52%	59.56%	58.70%	55.41%
薬剤費(千円)	芳田	福浜	芳泉	福南	光南台	高島	竜操	操山	富山	東山	操南	上道	旭東	西大寺	上南	山南	瀬戸	全体	
軽減可能薬剤費(千円)	24,892	35,731	35,945	28,164	10,173	30,055	51,260	32,074	21,323	29,102	34,493	28,685	50,290	37,301	12,232	18,861	20,386	1,004,134	
後発医薬品数量シェア(新指標)	58.44%	59.36%	58.03%	59.72%	62.07%	55.48%	57.73%	60.70%	59.35%	60.61%	61.09%	57.23%	56.96%	57.93%	59.48%	63.32%	60.69%	58.27%	

赤字・・・全体より3%以上低い(地区不明除く)

# ⑦効果的・効率的な保健事業の提案 まとめ

## 1 特定健診受診率向上対策事業

平成24年度から平成26年度の期間で特定健診の受診履歴の無い被保険者は、81,941名存在します。年齢階級としては65歳以上が、地区としては「建部」、「岡山中央」、「桑田」、「岡輝」、「妹尾」、「芳田」の占める割合が高く、これらの年齢層、地区を中心とした、特定健診受診勧奨を強化することが、特定健診受診率向上のために効果的と考えられます。

## 2\_特定保健指導対象者フォロー対策事業

特定保健指導利用率は、年齢階級としては50～54歳の年齢階級で、地区としては「建部」、「香和」、「岡山中央」、「灘崎」、「西大寺」、「山南」といった地区で顕著に低くなっています。これらの年齢階級、地区を優先的に、特定保健指導利用に向けた働きかけを充実させる必要があります。

## 3\_慢性腎臓疾患（CKD）対策事業

人工透析予備群となる、生活習慣病を原因とした糖尿病性腎症に罹患した被保険者は1,627名存在しました。これらの被保険者を対象として、保健指導の対象者を抽出し、個別保健指導の実施により、新規人工透析導入の防止、人工透析移行の遅延を図ることで、一定の医療費軽減効果が見込まれます。

## 4\_生活習慣病重症化予防対策事業

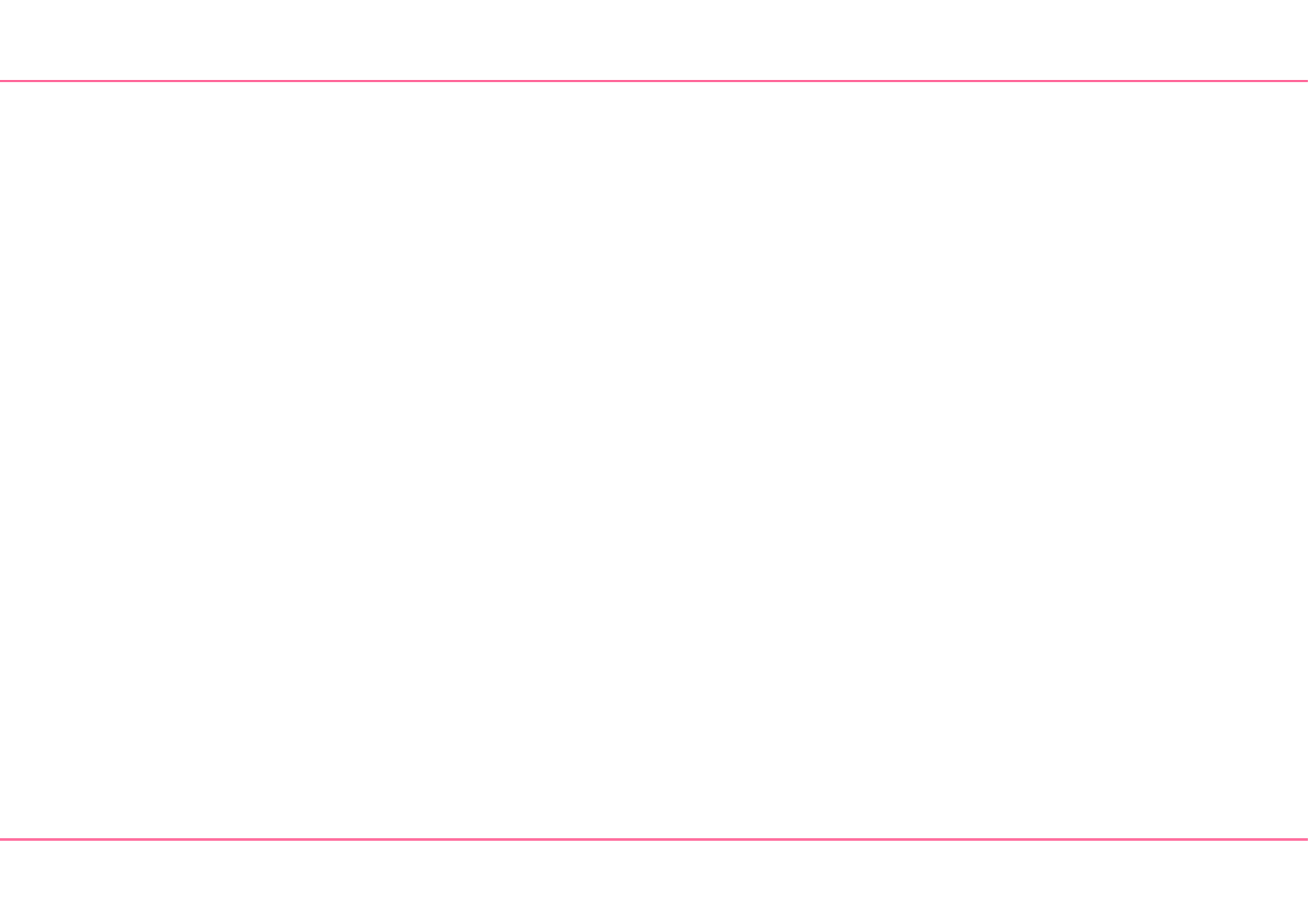
特定健診結果で異常値があり、生活習慣病を治療中の「健康リスクあり・生活習慣病治療中」の被保険者が9,279人、特定健診結果でなんらかの異常値が発生しているにもかかわらず、生活習慣病レセプトが存在しない、「健康リスクあり・未治療」の被保険者が6,963人、生活習慣病により医療機関を受診していたが、治療を中断している可能性がある「生活習慣病治療中断者」が3,853名存在しました。これら生活習慣病重症化リスクの高い被保険者を対象に、架電や通知などによる医療機関受診勧奨を行うことにより、生活習慣病のリスク管理、重症化防止効果が期待できます。

## 5\_適正受診啓発事業

頻回受診被保険者が364名存在し、重複投薬が24,434件発生しています。これらの多受診被保険者に対して、医療の必要性などを確認した上で、訪問や架電、通知による適正受診の働きかけを行い、受診・投薬状況を適正化することにより、年額約1億700万円の適正化が見込まれます。

## 6\_後発医薬品普及促進事業

平成26年度の後発医薬品数量シェアは58.15%、軽減可能薬剤費は年額約11億8千万円となっています。数量シェアは年齢階級で見ると若年から中年世代で、地域としては「建部」、「足守」、「岡北」、「岡山中央」、「御南」、「福田」、「妹尾」で全体平均と比較して低くなっています。軽減可能薬剤費は年齢階級が高くなるにつれ高額化し、地域としては「竜操」、「旭東」、「桑田」で高額になっています。より効果的に後発医薬品の普及を促進するため、年齢階級や地域を加味しつつ、後発医薬品差額通知等の送付を行っていくことも検討の余地があります。





**[平成27年度岡山市国民健康保険医療費等分析報告書]**

# **【参考資料】**





# 1. 社会保険表章用疾病分類表①

疾病大分類名	疾病中分類名
1. 感染症及び寄生虫症	腸管感染症
	結核
	主として性的伝播様式をとる感染症
	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患
	ウイルス肝炎
	その他のウイルス疾患
	真菌症
	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症 その他の感染症及び寄生虫症
2. 新生物	胃の悪性新生物(がん)
	結腸の悪性新生物
	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物
	肝及び肝内胆管の悪性新生物
	気管、気管支及び肺の悪性新生物
	乳房の悪性新生物
	子宮の悪性新生物
	悪性リンパ腫
	白血病
	その他の悪性新生物
	良性新生物及びその他の新生物
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	貧血
	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	甲状腺障害
	糖尿病
	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患
5. 精神及び行動の障害	血管性及び詳細不明の認知症
	精神作用物質使用による精神及び行動の障害
	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
	気分(感情)障害(躁うつ病を含む)
	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
	知的障害<精神遅滞>
	その他の精神及び行動の障害
6. 神経系の疾患	パーキンソン病
	アルツハイマー病
	てんかん
	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群
	自律神経系の障害
	その他の神経系の疾患

疾病大分類名	疾病中分類名
7. 眼及び付属器の疾患	結膜炎
	白内障
	屈折及び調節の障害
	その他の眼及び付属器の疾患
8. 耳及び乳様突起の疾患	外耳炎
	その他の外耳疾患
	中耳炎
	その他の中耳及び乳様突起の疾患
	メニエール病
	その他の内耳疾患 その他の耳疾患
9. 循環器系の疾患	高血圧性疾患
	虚血性心疾患
	その他の心疾患
	くも膜下出血
	脳内出血
	脳梗塞
	脳動脈硬化(症)
	その他の脳血管疾患
	動脈硬化(症)
	痔核
	低血圧(症)
その他の循環器系の疾患	
10. 呼吸器系の疾患	急性鼻咽頭炎(かぜ)<感冒>
	急性咽頭炎及び急性扁桃炎
	その他の急性上気道感染症
	肺炎
	急性気管支炎及び急性細気管支炎
	アレルギー性鼻炎
	慢性副鼻腔炎
	急性又は慢性と明示されない気管支炎
慢性閉塞性肺疾患	
喘息	
その他の呼吸器系の疾患	

・・・報告書中で生活習慣病関連疾患と定義

(※本報告書中の「②\_8\_対策を優先すべき疾病の詳細分析(医療費の三要素、性別・年齢階級別・中学校区別状況等)」においては、生活習慣病関連疾患と定義した分類のうち、さらに厳密に分類を行い、1型糖尿病等の生活習慣に起因する以外の疾患を除外して集計を行っています)



# 1. 社会保険表章用疾病分類表②

疾病大分類名	疾病中分類名	
11. 消化器系の疾患	う蝕(虫歯)	
	歯肉炎及び歯周疾患	
	その他の歯及び歯の支持組織の障害	
	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	
	胃炎及び十二指腸炎	
	アルコール性肝疾患	
	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	
	肝硬変(アルコール性のものを除く)	
	その他の肝疾患	
	胆石症及び胆のう炎	
	膵疾患	
	その他の消化器系の疾患	
	12. 皮膚及び皮下組織の疾患	皮膚及び皮下組織の感染症
		皮膚炎及び湿疹
その他の皮膚及び皮下組織の疾患		
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	炎症性多発性関節障害	
	関節症	
	脊椎障害(脊椎症を含む)	
	椎間板障害	
	頸腕症候群	
	腰痛症及び坐骨神経痛	
	その他の脊柱障害	
	肩の傷害<損傷>	
	骨の密度及び構造の障害	
	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	
14. 腎尿路生殖器系の疾患	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	
	腎不全	
	尿路結石症	
	その他の腎尿路系の疾患	
	前立腺肥大(症)	
	その他の男性生殖器の疾患	
	月経障害及び閉経周辺期障害	
	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	

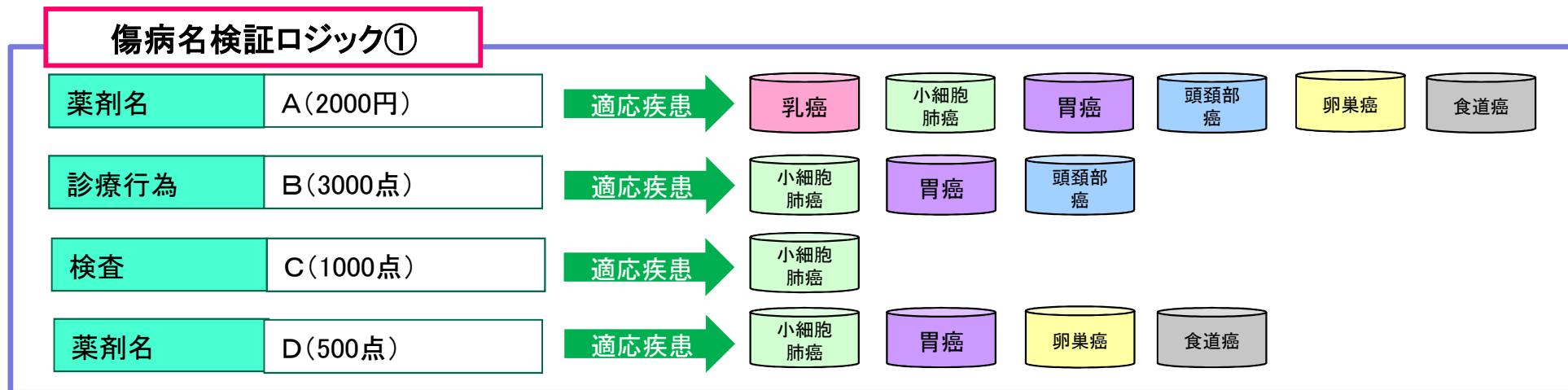
疾病大分類名	疾病中分類名
15. 妊娠, 分娩及び産じょく	流産
	妊娠高血圧症候群
	単胎自然分娩
	その他の妊娠, 分娩及び産じょく
16. 周産期に発生した病態	妊娠及び胎児発育に関連する障害
	その他の周産期に発生した病態
17. 先天奇形, 変形及び染色体異常	心臓の先天奇形
	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常
18. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
19. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	骨折
	頭蓋内損傷及び内臓の損傷
	熱傷及び腐食
	中毒
	その他の損傷及びその他の外因の影響

疾病大分類名	疾病中分類名
22. 特殊目的用コード	重症急性呼吸器症候群(SARS)
	その他の特殊目的用コード

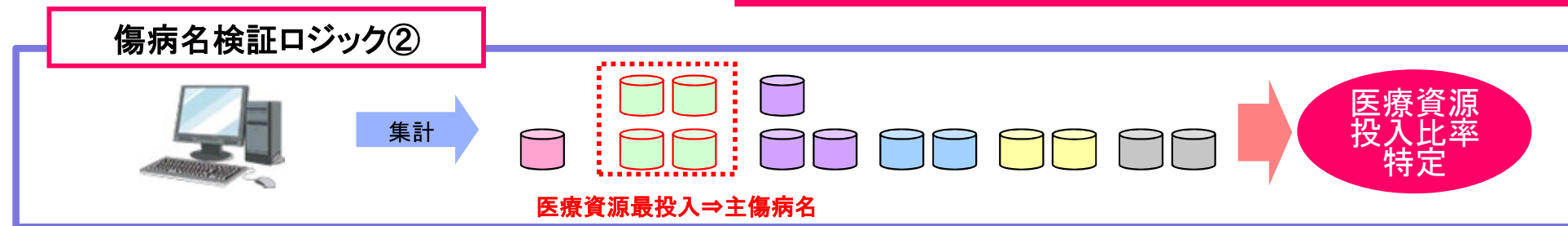
・・・報告書中で生活習慣病関連疾患と定義  
 (※本報告書中の「②.8\_対策を優先すべき疾病の詳細分析(医療費の三要素、性別・年齢階級別・中学校区別状況等)」においては、生活習慣病関連疾患と定義した分類のうち、さらに厳密に分類を行い、1型糖尿病等の生活習慣に起因する以外の疾患を除外して集計を行っています)

## 2.レセプトデータにおける傷病名と診療行為の紐付方法について

本報告書中の「②\_平成26年度レセプト分析」においては、レセプトにおける正確な傷病名を特定するため、「最も医療資源を投入した傷病名を導き出すプログラムと処理方法」(特許番号:4986986)の技術を用い、レセプトの傷病名と診療行為(薬剤・検査・手術・処置・技術料等)=投入された医療資源を紐付け、傷病名毎の医療資源投入比率を算出、レセプトの主な傷病名とその他の傷病名を分類しています。



レセプトデータを取り込み、ロジック①及びロジック②を実行する。  
処理2で導き出された結果を主傷病名とその他の病名として分類する。  
上記事例の場合は一番多く紐付け病名があり(金額を合計した上で)合計金額の多かった「小細胞肺癌」が主傷病名となる。





### 3.レセプトデータにおける未コード化傷病名のコード化方法について

本報告書中の「②\_平成26年度レセプト分析」においては、レセプト電算データに含まれる未コード化傷病名をコード化し、正確な傷病名を特定するため、別途準備した傷病名マスタとの紐付・変換処理を行っています。

#### 未コード化傷病名変換ロジック

	傷病名	傷病名コード
未コード化傷病名	高血圧	0000999

①レセプトデータを取り込み、未コード化傷病名を抽出

突合・抽出

傷病名	傷病名コード
悪性高血圧症	8830212
境界型高血圧症	8832479
高血圧症	8833421
本態性高血圧症	8840107
.....	

②未コード化傷病名と「傷病名マスタ」を突合。変換候補傷病名が抽出される。

確定

	傷病名	傷病名コード
コード化傷病名	高血圧症	8833421

③変換候補傷病名より最も一致率の高い傷病名及び傷病名コードが確定する。

## 4. 特定健診・特定保健指導について

### ● 特定健診・特定保健指導

40歳から74歳の被保険者を対象として平成20年4月から医療保険者に実施が義務づけられた、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病を予防するための健康診査及び、その健康診査の結果により個人の生活習慣改善を支援する必要がある人に行う保健指導のことです。

検査項目		説明		
特定健診基本項目	身体計測	身長	-	
		体重	-	
		B M I	体重(キログラム)÷身長(メートル)÷身長(メートル)で求められ、25以上は肥満。	
		腹 囲	へその上の位置で息を吐いた状態で測定する。	
	血圧	収縮期血圧	心臓から血液が送り出されるとき最大の血圧。	
		拡張期血圧	心臓が拡張した時の最小血圧。	
	血液検査	脂質	中性脂肪	主にエネルギーとして利用され、余りは脂肪として体内に蓄積される。
			HDLコレステロール	血管内の悪玉コレステロールを肝臓へ運んで排泄・処理し動脈硬化を予防する。善玉コレステロールともいう。
			LDLコレステロール	量が多くなると血管の内側に付着してたまり、動脈硬化を進行させる。悪玉コレステロールともいう。
		肝機能	AST(GOT)	心臓や筋肉に多く含まれ、数値が高いと心臓や筋肉などの臓器の異常や障害が疑われる。
			ALT(GPT)	肝細胞に含まれ、数値が高いと脂肪肝などの肝機能障害が疑われる。
			γ-GT(γ-GTP)	肝機能障害やアルコール過剰摂取が疑われる。
		糖代謝 (いずれか必須)	空腹時血糖	10時間の絶食状態で、糖尿病発見の手がかりとなる血液中のブドウ糖の量を調べる。
			HbA1c(NGSP値)	過去1～3ヶ月の平均的な血糖値。検査当日の飲食に影響を受けない。
尿検査	尿糖	血液中のブドウ糖(血糖)が、腎臓での糖の処理能力の限度を超えて尿中に糖が漏れ出てきたもの。		
	尿たんぱく	腎機能が低下して再吸収が阻害されると、糸球体で濾過された蛋白質が尿中に排泄されて陽性となる。		
独自項目※	血液検査	腎機能	血清クレアチニン	筋肉で作られる老廃物の一つで、腎臓の糸球体から排出される。値が高い場合は腎臓の機能障害が考えられる。
		血清尿酸	細胞中にある核酸の構成物質であるプリン体が肝臓で分解されて生じる老廃物で、腎臓機能の低下などにより高くなる。	
	脂質	総コレステロール	血液に含まれる全てのコレステロール(善玉コレステロールや悪玉コレステロールを含めた)の総量のこと。	

※平成23年度から岡山市独自に項目を追加。HbA1cについても、岡山市では必須項目としています。



## 5.メタボリックシンドローム・特定保健指導等の判定基準表

### ●メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)判定基準

腹囲	追加リスク※1 血糖・脂質・血圧	内臓脂肪症候群
男性85cm以上 女性90cm以上	2つ以上該当 1つ該当	該当 予備群

#### ※1 追加リスク

項目	基準
血糖	HbA1c6.0%以上または空腹時血糖110mg/dl以上
脂質	中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
血圧	収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上

### ●特定保健指導判定基準

腹囲	追加リスク※2 血糖・脂質・血圧	喫煙歴	対象	
			40～64歳	65～74歳
男性85cm以上 女性90cm以上	2つ以上該当	/	積極的支援	動機づけ支援
	1つ該当	あり なし	積極的支援 動機づけ支援	
上記以外で BMI25以上	3つ該当	/	積極的支援	
	2つ該当	あり なし	積極的支援 動機づけ支援	
	1つ該当	/	動機づけ支援	

#### ※2 追加リスク

項目	基準
血糖	HbA1c5.6%以上または空腹時血糖100mg/dl以上
脂質	中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
血圧	収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上

### ●有所見判定値と受診勧奨判定値

項目		保健指導判定値	受診勧奨判定値
肥満	腹囲	男性85cm以上 女性90cm以上	-
	BMI	25以上	-
血糖	HbA1c	5.6%以上	6.5%以上
	空腹時血糖	100mg/dl以上	126mg/dl以上
脂質	中性脂肪	150mg/dl以上	300mg/dl以上
	HDLコレステロール	40mg/dl未満	35mg/dl未満
	LDLコレステロール	120mg/dl以上	140mg/dl以上
血圧	収縮期血圧	130mmHg以上	140mmHg以上
	拡張期血圧	85mmHg以上	90mmHg以上



# 6.地区別リスク詳細状況×男性（平均からのずれをみた評価）①

以下の表は、男性の健康リスク状況について中学校区別に比較しやすくするため、④\_1\_2\_中学校区別リスク詳細状況(p.92)の表と、②\_8\_3\_対策を優先すべき疾病別医療費諸要素×入院・入院外×地区別×性別(p.54, p.57)の表を組み合わせるとひとつにまとめたものです。なお、もとの表では岡山市全体を基準値とした比率の大小で地区別のリスクを評価しましたが、ここでは平均値からどれくらいずれがあるかでリスクの保有状況を評価しています。

中学校区別リスク(対策が必要な疾患別年齢調整後受療比等×入院・入院外再掲)詳細状況(男性)

…偏差1以上(特定健診受診比のみ-1以下)

…偏差-1以下(特定健診受診比のみ1以上)

地区	医療機関年齢調整後受療比(入院・入院外)					医療機関年齢調整後受療比(入院)					医療機関年齢調整後受療比(入院外)					特定健診年齢調整後受診比及びリスク比											
	高血圧	糖尿病	脂質異常症	虚血性心疾患	脳血管疾患	高血圧	糖尿病	脂質異常症	虚血性心疾患	脳血管疾患	腎臓疾患	高血圧	糖尿病	脂質異常症	虚血性心疾患	脳血管疾患	腎臓疾患	腎臓疾患入院外医療費比	特定健診受診比	服薬あり			服薬なし				
																				メタボ該当比	血圧リスク比※1	血糖リスク比※2	脂質リスク比※3	メタボ該当比	血圧リスク比※1	血糖リスク比※2	脂質リスク比※3
建部	89.42	99.13	99.23	93.68	102.41	73.12	87.48	90.20	56.94	88.90	45.13	89.70	99.51	99.32	94.95	103.01	112.73	67.63	73.13	113.95	102.20	64.97	122.36	130.06	152.20	159.86	134.19
御津	107.26	96.88	106.01	109.63	110.31	87.45	99.68	95.72	56.13	140.54	137.06	107.61	96.79	106.11	111.47	108.98	111.85	290.27	87.33	83.36	124.96	95.30	111.26	92.17	76.05	98.27	93.04
足守	93.28	83.44	106.56	96.15	93.95	215.63	170.82	102.65	135.54	237.99	189.33	91.14	80.59	106.60	94.78	87.53	153.19	78.46	111.90	116.09	126.65	116.47	162.89	118.73	120.97	143.00	109.17
香和	87.39	92.67	95.95	127.45	118.22	91.88	75.01	89.16	85.72	71.24	61.49	87.31	93.25	96.02	128.89	120.31	84.52	101.15	114.54	96.91	85.90	93.01	88.83	112.39	92.86	91.07	116.01
中山	95.47	89.00	81.19	87.28	92.02	91.54	62.77	87.65	76.54	93.15	57.34	95.54	89.86	81.13	87.65	91.97	103.48	90.79	127.42	94.55	105.03	112.33	62.55	99.73	95.72	111.83	89.49
高松	91.31	84.19	83.35	70.80	82.74	71.13	99.27	40.21	48.67	93.92	67.55	91.66	83.70	83.78	71.56	82.25	75.91	71.80	103.73	99.97	109.45	108.58	105.78	112.87	102.23	145.45	97.93
京山	77.58	82.18	72.98	82.67	82.83	149.72	128.67	117.43	80.48	125.15	69.77	76.30	80.65	72.53	82.75	80.93	63.92	38.07	106.05	98.39	100.89	107.57	106.68	98.70	76.70	109.99	100.35
岡北	83.33	79.56	73.83	84.37	104.72	122.74	93.11	120.43	157.50	112.25	101.49	82.63	79.11	73.36	81.82	104.38	106.90	210.36	92.56	103.77	110.67	100.20	134.77	84.74	128.13	97.02	88.13
岡山中央	80.55	78.98	66.59	93.46	73.09	72.71	126.25	164.86	111.34	123.02	88.27	80.69	77.42	65.58	92.83	70.82	109.84	163.66	87.96	107.33	110.28	100.53	117.38	77.12	101.90	50.67	87.23
石井	87.11	89.56	83.46	82.88	88.43	114.96	125.60	108.67	114.89	127.28	158.24	86.61	88.38	83.21	81.76	86.67	83.58	69.84	106.11	113.60	116.04	97.44	77.56	101.25	108.46	109.07	94.69
桑田	97.77	99.31	82.03	103.91	115.45	104.01	105.58	77.22	144.65	102.87	120.68	97.66	99.10	82.08	102.47	116.02	89.51	95.94	89.57	99.29	100.36	87.02	107.08	83.38	92.63	116.17	99.79
岡輝	88.60	102.17	82.97	109.79	93.48	81.19	104.16	125.86	112.66	101.22	54.94	88.73	102.11	82.53	109.69	93.13	102.67	80.80	74.53	101.47	104.04	106.19	87.22	122.32	94.78	128.99	105.49
吉備	84.21	80.73	76.29	88.34	77.08	77.85	79.78	73.96	83.91	59.08	92.66	84.32	80.76	76.32	88.50	77.89	79.05	130.65	99.39	93.76	91.87	84.64	98.64	108.54	93.41	95.97	113.44
御南	97.47	99.90	82.65	89.13	105.00	84.58	75.70	114.71	82.95	133.20	206.74	97.70	100.70	82.32	89.35	103.71	102.72	95.18	104.64	98.15	81.52	117.24	116.33	99.90	85.49	104.84	99.99
福田	99.84	100.36	97.55	102.24	113.59	91.79	105.96	161.78	89.22	85.21	109.98	99.98	100.18	96.92	102.69	114.85	79.78	62.09	84.25	100.20	85.40	105.22	106.67	103.64	90.25	117.31	87.62
妹尾	88.33	89.98	100.60	89.62	100.59	75.48	101.65	71.74	108.89	92.46	77.88	88.55	89.59	100.89	88.95	100.95	75.56	94.62	86.37	93.51	74.35	65.02	127.69	86.21	106.20	126.81	102.25
興除	100.92	90.57	103.00	105.39	85.50	54.94	72.92	66.11	101.17	71.81	27.39	101.72	91.15	103.36	105.54	86.11	86.07	33.78	114.47	104.01	82.02	65.12	94.37	105.40	99.38	89.92	101.27
藤田	97.09	97.93	99.94	93.52	74.64	103.27	109.91	73.78	115.41	73.66	128.88	96.98	97.54	100.20	92.76	74.68	77.70	41.38	117.64	110.22	100.26	106.29	152.49	84.79	77.81	78.17	92.66
灘崎	84.29	84.46	88.20	68.76	73.16	100.74	97.02	73.95	83.34	115.70	106.12	84.01	84.05	88.34	68.26	71.27	103.54	296.13	117.16	96.64	105.29	105.51	94.27	107.80	110.65	76.88	123.62
芳田	88.76	88.58	91.58	85.80	93.40	55.24	81.60	75.21	106.13	88.91	107.90	89.36	88.81	91.75	85.08	93.61	115.70	63.43	85.42	91.20	99.69	106.68	71.98	98.85	116.02	110.04	106.45
福浜	99.89	113.49	92.20	103.53	102.89	90.85	118.15	105.41	119.13	61.54	100.82	100.06	113.34	92.06	102.98	104.76	74.76	22.25	103.00	109.14	117.78	107.47	72.67	110.29	115.66	79.23	98.21
芳泉	93.00	88.30	98.19	99.01	91.92	87.22	70.52	100.26	88.91	112.48	60.68	93.10	88.89	98.17	99.37	90.99	116.13	93.99	104.81	91.03	65.58	107.98	84.49	94.45	95.42	68.19	98.55
福南	97.16	110.96	102.16	95.01	80.10	64.75	89.85	82.23	66.80	68.29	57.97	97.73	111.64	102.36	95.99	80.63	71.38	68.68	92.65	104.73	99.80	115.50	40.82	93.34	98.45	136.41	94.33
光南台	103.99	99.48	108.41	97.22	84.09	114.75	121.86	88.09	84.56	83.06	70.23	103.81	98.75	108.61	97.66	84.13	120.74	68.39	87.92	101.38	113.48	101.14	62.02	105.16	106.19	102.83	80.45
高島	97.67	96.64	117.90	110.34	99.98	92.42	112.11	88.21	124.77	88.95	106.14	97.76	96.14	118.20	109.84	100.46	109.81	51.56	102.89	106.16	113.28	100.58	81.92	96.65	108.45	87.65	88.64
童操	95.59	92.59	90.63	102.57	82.85	96.56	91.94	120.82	84.88	73.93	121.86	95.57	92.62	90.33	103.18	83.25	109.96	62.98	103.56	101.86	98.62	114.00	106.69	99.91	105.50	108.43	94.80
操山	79.86	79.27	74.12	74.76	74.57	92.37	69.40	135.65	91.97	80.04	80.63	79.64	79.59	73.50	74.16	74.32	114.59	97.11	94.57	97.05	97.46	96.37	78.13	80.73	72.86	97.53	97.40
富山	89.02	86.99	99.01	85.68	88.36	78.20	59.80	66.93	51.96	47.23	120.60	89.21	87.88	99.33	86.85	90.19	139.07	333.94	95.74	93.58	119.23	104.02	89.33	99.30	98.65	84.97	91.77
東山	99.30	101.53	97.24	103.49	95.05	100.86	103.25	44.73	119.47	109.78	68.05	99.28	101.48	97.77	102.94	94.39	61.17	70.58	93.04	100.97	90.24	98.55	81.61	104.16	108.80	114.55	102.62
操南	92.28	95.68	99.41	71.75	83.21	103.59	89.32	63.80	90.20	87.30	105.63	92.08	95.89	99.77	71.11	83.03	99.91	127.07	116.85	100.79	100.75	67.81	121.65	101.51	102.49	115.61	95.71
上道	91.95	96.01	95.06	93.30	115.34	83.92	72.34	47.45	67.78	98.31	46.23	92.09	96.79	95.53	94.18	116.09	87.20	172.20	103.15	89.59	100.27	64.80	93.75	91.61	88.68	82.77	114.60
旭東	89.96	104.38	115.12	104.95	104.86	116.75	98.72	183.31	105.13	124.96	87.80	89.49	104.57	114.45	104.94	103.97	99.03	83.48	95.00	99.85	118.04	112.39	129.76	112.00	120.55	65.61	110.57
西大寺	87.75	97.07	94.02	86.01	89.99	105.51	98.29	67.43	85.79	60.95	81.82	87.44	97.03	94.29	86.02	91.28	53.04	31.47	104.45	90.53	85.23	95.17	92.63	104.42	88.41	110.36	96.18
上南	87.92	81.35	110.26	81.38	78.43	72.64	58.14	48.45	18.65	67.25	90.90	88.19	82.10	110.87	83.54	78.93	111.58	88.93	108.78	99.15	88.85	123.94	155.58	98.71	71.68	84.07	100.10
瀬戸	117.76	84.80	98.47	108.54	90.20	74.94	54.47	33.16	71.68	86.53	48.07	118.50	85.78	99.11	109.80	90.36	66.98	26.93	88.77	111.41	89.79	116.38	99.69	97.78	112.50	96.99	87.90
瀬戸	99.84	91.00	104.46	83.02	126.68	97.91	98.70	105.59	101.75	57.17	145.40	99.87	90.75	104.44	82.28	129.75	40.51	24.40	78.96	103.20	109.30	118.25	127.40	103.17	111.88	64.29	106.95

※1・・・1度高血圧以上をリスクありとする ※2・・・空腹時血糖126mg/dl以上またはHbA1c6.5%以上をリスクありとする ※3・・・LDL140mg/dl以上または中性脂肪300mg/dl以上をリスクありとする



# 6. 地区別リスク詳細状況×女性（平均からのずれをみた評価）②

以下の表は、女性の健康リスク状況について中学校区別に比較しやすくするため、④\_1\_2\_中学校区別リスク詳細状況(p.93)の表と、②\_8\_3\_対策を優先すべき疾病別医療費諸要素×入院・入院外×地区別×性別(p.55, p.58)の表を組み合わせ、ひとつにまとめたものです。なお、もとの表では岡山市全体を基準値とした比率の大小で地区別のリスクを評価しましたが、ここでは平均値からどれくらいずれがあるかでリスクの保有状況を評価しています。

中学校区別リスク(対策が必要な疾患別年齢調整後受療比等×入院・入院外再掲)詳細状況(女性)

…偏差1以上(特定健診受診比のみ-1以下)

…偏差-1以下(特定健診受診比のみ1以上)

地区	医療機関年齢調整後受療比(入院・入院外)					医療機関年齢調整後受療比(入院)					医療機関年齢調整後受療比(入院外)					特定健診年齢調整後受診比及びリスク比											
	高血圧	糖尿病	脂質異常症	虚血性心疾患	脳血管疾患	高血圧	糖尿病	脂質異常症	虚血性心疾患	脳血管疾患	腎臓疾患	高血圧	糖尿病	脂質異常症	虚血性心疾患	脳血管疾患	腎臓疾患	腎臓疾患入院外医療費比	特定健診受診比	服薬あり			服薬なし				
																				メタボ該当比	血圧リスク比※1	血糖リスク比※2	脂質リスク比※3	メタボ該当比	血圧リスク比※1	血糖リスク比※2	脂質リスク比※3
建部	89.09	127.41	117.83	109.70	102.33	158.72	158.42	262.37	125.37	164.85	178.46	88.34	126.71	116.99	109.30	100.61	146.55	193.42	70.88	108.32	120.20	127.21	98.06	145.17	133.67	243.80	78.18
御津	115.82	100.58	123.24	149.74	151.44	146.59	209.89	191.79	70.39	118.31	84.92	115.49	98.13	122.84	151.79	152.36	147.67	83.48	100.95	101.63	77.38	71.80	59.25	115.88	107.22	124.59	95.46
足守	107.27	86.38	121.08	171.89	66.47	107.04	115.76	75.49	47.45	147.93	50.03	107.28	85.71	121.35	175.10	64.18	140.98	155.83	110.23	112.95	148.08	120.14	140.09	152.92	125.31	173.46	94.97
香和	87.32	94.46	88.67	144.63	91.93	79.48	123.37	65.07	43.99	94.83	68.33	87.40	93.80	88.81	147.25	91.85	87.40	50.91	120.46	86.29	114.96	107.65	102.10	103.16	100.67	72.09	106.43
中山	98.28	97.92	89.17	86.30	89.10	62.24	63.93	78.33	64.15	87.09	56.92	98.66	98.68	89.23	86.88	89.16	102.68	82.48	119.65	113.64	106.44	110.39	81.93	129.52	94.17	87.01	102.44
高松	102.82	88.51	100.75	98.15	81.68	76.51	77.64	83.93	71.66	115.07	117.75	103.10	88.75	100.85	98.84	80.75	120.38	27.49	97.96	98.79	108.23	98.93	102.38	64.54	99.84	164.75	99.76
京山	74.76	68.40	75.40	79.42	75.15	125.06	127.43	287.20	146.25	180.64	107.06	74.22	67.03	74.14	77.67	72.23	91.20	133.96	106.60	90.35	112.33	118.79	69.56	88.52	91.78	108.55	106.00
岡北	82.79	72.66	78.81	70.52	102.17	112.21	77.19	98.58	114.81	114.28	122.06	82.47	72.55	78.69	69.37	101.83	96.06	228.82	90.57	91.07	102.53	89.69	110.99	113.14	112.46	92.64	102.06
岡山中央	70.71	58.88	59.05	66.33	60.73	74.12	64.35	42.79	77.47	43.15	6.77	70.67	58.75	59.15	66.04	61.21	45.39	44.34	88.87	78.14	77.45	99.19	111.91	94.05	80.28	46.35	100.63
石井	85.30	80.88	85.14	100.53	95.88	137.49	114.51	103.10	187.37	209.91	268.59	84.74	80.12	85.04	98.25	92.73	95.73	148.74	102.37	111.59	115.25	120.17	103.73	94.20	98.00	136.12	97.83
桑田	96.94	98.15	84.00	82.12	102.48	64.50	54.94	148.69	64.65	80.42	31.88	97.29	99.17	83.61	82.58	103.09	63.70	15.11	89.49	102.83	93.89	93.21	112.97	67.58	93.62	123.94	99.40
岡輝	93.47	115.26	88.07	105.92	89.09	51.97	52.25	68.40	97.61	96.41	19.77	93.92	116.73	88.19	106.14	88.89	100.10	121.10	82.11	116.13	89.72	97.65	109.12	105.55	93.82	40.93	98.76
吉備	85.11	82.34	81.39	65.99	71.69	75.28	65.91	100.01	104.01	62.48	44.64	85.22	82.71	81.28	65.00	71.94	52.09	26.76	100.85	75.46	107.49	84.63	104.08	95.61	103.27	75.92	99.71
御南	100.75	104.47	85.12	95.58	91.20	108.12	93.44	100.41	54.37	61.74	16.04	100.67	104.72	85.03	96.68	92.02	52.83	15.24	103.69	112.06	103.04	113.02	93.17	86.97	79.98	132.62	96.50
福田	85.50	104.73	83.61	99.99	108.77	94.80	103.97	98.63	46.56	83.46	122.20	85.40	104.75	83.53	101.36	109.48	111.47	71.84	87.63	105.73	95.37	82.46	84.90	88.76	98.59	69.08	116.07
妹尾	105.21	106.34	105.37	119.78	108.19	85.06	83.49	140.14	46.51	79.77	78.93	105.43	106.86	105.17	121.68	108.99	139.54	199.92	81.47	98.23	74.02	66.92	81.40	56.82	95.24	120.70	116.74
興除	100.40	105.24	102.11	114.36	120.54	87.89	85.30	142.93	74.87	120.32	45.28	100.53	105.70	101.87	115.38	120.55	57.01	22.43	106.63	107.95	98.72	75.31	101.33	109.43	111.83	65.80	101.57
藤田	100.90	102.50	95.00	123.39	113.09	63.39	95.99	83.79	86.06	57.48	48.28	101.30	102.65	95.07	124.36	114.63	97.81	42.45	111.47	113.64	106.91	68.14	112.34	124.01	97.76	52.20	91.68
灘崎	98.03	84.97	97.97	105.33	74.64	84.47	74.75	129.98	164.20	85.11	301.27	98.17	85.20	97.78	103.80	74.35	63.36	33.34	124.54	98.03	120.95	129.48	107.44	133.78	115.24	153.87	107.96
芳田	91.54	89.10	88.69	87.26	79.54	124.80	124.20	122.05	95.62	92.80	282.21	91.19	88.28	88.50	87.03	79.18	106.08	115.34	94.81	98.87	85.69	63.11	76.64	91.47	81.90	54.78	97.43
福浜	103.01	133.16	91.44	115.08	82.48	84.20	91.65	43.79	100.51	69.18	35.36	103.22	134.11	91.72	115.47	82.85	82.73	61.94	102.11	103.93	108.71	109.90	107.44	107.15	105.76	73.82	102.49
芳泉	89.54	94.23	89.28	84.33	85.09	87.75	89.53	55.09	110.61	66.27	154.65	89.55	94.34	89.48	83.64	85.61	135.33	118.24	107.72	119.56	82.94	103.32	118.72	102.48	100.15	144.72	95.00
福南	98.02	104.86	96.44	77.67	79.47	95.79	91.32	80.57	117.76	66.60	106.27	98.04	105.17	96.54	76.62	79.82	82.03	64.00	108.74	115.90	104.01	91.35	73.20	101.95	86.52	82.44	96.85
光南台	122.60	112.10	108.27	110.21	111.44	123.29	144.62	74.65	81.26	106.19	157.52	122.60	111.37	108.47	110.96	111.59	115.17	60.37	94.70	139.01	120.54	130.34	146.99	116.93	129.63	185.66	88.73
高島	90.59	90.68	98.22	104.48	102.23	104.64	103.38	86.45	126.38	67.99	91.89	90.44	90.40	98.29	103.91	103.17	131.64	320.13	103.51	96.97	88.79	71.56	91.34	121.34	105.39	124.12	97.85
竜操	97.59	88.33	86.62	88.92	93.33	78.56	77.24	40.32	74.81	83.74	99.27	97.80	88.59	86.89	89.29	93.60	138.16	150.48	100.02	94.05	91.24	91.75	85.29	121.13	118.31	89.67	99.48
操山	80.66	70.68	72.82	81.12	82.03	144.27	144.39	95.61	91.81	87.33	171.27	79.97	68.98	72.68	80.84	81.89	58.28	87.88	96.11	82.33	96.65	105.30	94.58	66.39	88.97	107.78	91.14
富山	89.07	89.80	93.40	99.76	75.25	67.29	20.27	53.17	69.55	33.26	52.33	89.30	91.37	93.64	100.54	76.42	178.82	109.19	105.10	92.75	97.79	101.86	96.78	65.75	92.07	54.68	102.51
東山	106.08	104.53	99.50	92.82	103.82	100.68	85.80	65.53	70.06	118.77	62.95	106.14	104.96	99.70	93.42	103.40	73.16	59.01	96.45	95.06	69.84	100.91	98.05	92.42	84.80	91.54	102.88
操南	107.08	89.20	121.09	71.78	81.09	66.72	86.17	73.91	67.15	69.13	40.70	107.51	89.27	121.37	71.90	81.42	62.63	62.87	112.55	97.84	88.53	105.29	105.36	94.78	94.77	87.02	105.11
上道	97.35	94.67	105.62	91.93	153.72	128.16	117.88	124.03	167.02	111.15	69.73	97.02	94.15	105.51	89.99	154.91	80.43	64.11	92.74	89.33	113.52	124.05	136.73	72.97	108.49	73.44	101.16
旭東	93.06	106.67	117.98	98.28	110.02	118.25	132.86	115.05	108.29	86.33	119.43	92.78	106.08	118.00	98.02	110.68	152.46	231.25	92.55	95.86	119.43	106.19	90.38	98.51	114.91	77.45	89.76
西大寺	90.61	91.42	102.75	98.67	111.88	106.03	95.25	70.78	80.41	101.08	41.76	90.44	91.33	102.94	99.15	112.18	81.93	32.73	101.36	106.05	87.45	119.96	88.10	104.83	86.63	116.41	99.40
上南	113.31	121.31	137.04	102.37	99.48	161.99	133.48	107.37	214.33	223.07	123.60	112.79	121.03	137.21	99.49	96.05	58.81	84.93	94.09	123.33	102.90	115.04	94.57	147.30	100.37	146.59	97.12
山南	139.26	117.07	118.54	169.20	132.38	158.87	181.34	73.66	160.54	144.17	257.02	139.05	115.63	118.80	169.42	132.05	115.89	81.35	82.25	80.51	89.54	88.92	213.47	85.88	107.23	153.09	103.66
瀬戸	101.55	110.19	108.83	86.53	138.89	93.98	89.12	75.07	114.96	105.27	25.40	101.63	110.66	109.03	85.80	139.81	67.36	198.50	87.01	83.62	89.96	87.59	101.72	107.20	97.55	83.56	111.19

※1・・・1度高血圧以上をリスクありとする ※2・・・空腹時血糖126mg/dl以上またはHbA1c6.5%以上をリスクありとする ※3・・・LDL140mg/dl以上または中性脂肪300mg/dl以上をリスクありとする



国民健康保険被保険者の年齢構成は急速に高齢化しています。癌や脳卒中に代表される、様々な疾患は加齢とともに増加します。たとえ、生活環境の改善に伴って同じ年齢階級ならば癌も脳卒中も減少してきていても、被保険者の高齢化には追い付かず、有病者は激増しています。

また、ウイルス性肝炎に対する内服薬の開発や様々な疾患への分子標的療法等々、近年画期的な治療法が続々と登場してきています。従来不治とされた疾患の完治が期待できるようになったり、患者さんの生活の質が著しく向上しました。こうした医療技術の進歩は、ワクチンによる疾病の確実な予防や、薬剤の安価な製造にまで至れば医療費の削減に至るとされます。しかし、現状では医療技術の進歩が医療費の著しい増高をもたらしています。

こうした抗いようのない趨勢のもとで、国民健康保険制度を持続可能なものとするための方策を探るべく、このたび国民健康保険医療費と国民健康保険被保険者の特定健康診査結果の分析に取り組みました。

平成22年にも国保医療費の分析に取り組み、慢性腎疾患(CKD)対策の必要性を明らかにし、それを受けたCKD対策に全県をリードする形で取り組んできました。しかし、当時は年齢調整などの精緻な統計分析や、通年の医療費データ分析、通院調剤医療費の計上等が技術的に困難でした。

これらの技術的課題を克服して、今回の分析では以下の点を留意しました。

- 1) 単純な粗集計の比較は避け、年齢や性別を調整して、全国と岡山市、市内中学校区間とで比較
- 2) 単月では変動の大きいデータを通年分で分析
- 3) 入院外医療費の大きな割合を占める調剤費を包含して分析

結果、当市の様々な慢性疾患の受療率(疾患のために受診した人の割合)が全国水準より高く、被保険者一人当たりの医療費も高く、さらに通院日数も多いという所見が明らかになりました。さらに、高血圧や虚血性心疾患といったありふれた疾患でさえ、中学校区間で2倍近い受療率の相違がありました。

今回の分析は、結果としての受療率の差を明らかにしたものの、その差の原因は単純なものではないでしょう。原因がわからないと対策が打てないという一見科学的な意見もあるものの、科学的にそれを解明しようとすると、何十年もかかってしまうこととなります。科学的な原因解明が目的ではなく、受療率を下げることを目的とする場合、たとえ明確な原因は不明でも、合理的な対策を講じることは可能です。そして、その合理的な対策が有効性を持つためには、より多くの人とその対策の必要性をわかって、積極的に取り組んでいただかねばなりません。

本分析が、多くの人目の目に留まって、それぞれの地域の現状や合理的対策の理解/実践に寄与できることとなるよう期待します。

平成28年3月 岡山市保健所長 松岡 宏明

